

## (エ) 学び合いの場①の開催

### ①イベント名

- 地域づくりのための気候変動社会教育 ～学び合いの場①

### ②日時

- 2024年8月23日（金）14：00～15：30

### ③会場

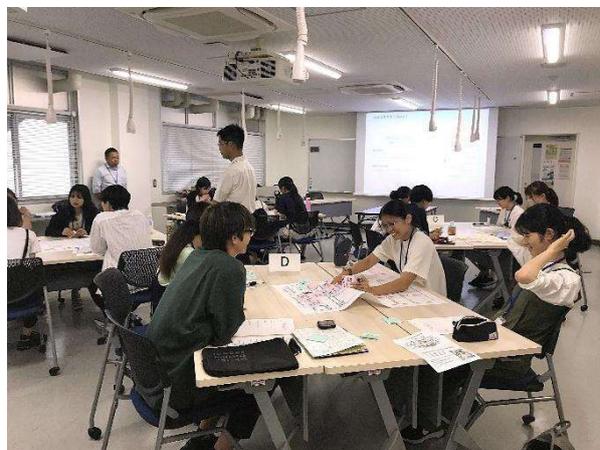
- 愛知教育大学 116 サイエンスアクティビティルーム（愛知県刈谷市）

### ④参加者

- 18名（愛知教育大学大鹿ゼミ生16名、EPO 中部のインターン高校生2名）

### ⑤プログラム

- ごあいさつ
- インプット「ESDは人づくり、学び合いの場を創る」
- ワークショップ① 立場の違いから「学び合いの場」の役割を考える
- ワークショップ② ワークシートを用いて「学び合いの場」を企画する
- 成果共有と相互評価
- 事後アンケート
- 振り返りディスカッション



## (オ) 学び合いの場②の開催

### ① イベント名

- 環境省 EPO 中部・中部地方 ESD 活動支援センター連携講座 ～学び合いの場②  
(※地球温暖化防止活動推進センター中部ブロック合同検討会内で実施)

### ② 日時

- 2024年11月7日(木) 10:10～12:00

### ③ 会場

- ウィンクあいち 1303 会議室(愛知県名古屋市)

### ④ 参加者

- 24名(中部各県の地球温暖化防止活動推進センター職員、推進員)

### ⑤ プログラム

- 開会・導入
- 学び合いの場の企画づくり
- 発表
- まとめ



## エ 実践活動（実践セミナーの開催）

### ①イベント名

- 実践セミナー「学び合いの場づくり」実務者研修

### ②日時

- 2024年11月11日（月）15：00～16：30

### ③会場

- 坂井市役所 3F 大ホール(福井県坂井市)

### ④参加者

- 39名（坂井市職員等、EPO・環境省除く）

### ⑤プログラム

- ESD for SDGsとしての「学び合いの場」づくりについて
- ディスカッション 企画づくりテーマ設定
- 企画づくりワークショップ（企画した学び合いの場についての SDGs チェック、学び合いの場の企画づくり、ペルソナワークショップによる企画のブラッシュアップ）
- 議論した内容を発表



### ⑥開催案内資料（水上氏・坂井市が作成）

## 2024 ESD for SDGs 実践セミナー「学び合いの場づくり」実務者研修

※ESDとは：持続可能な開発のための教育（2002年国連総会で採択）

発行：2023年12月

**目的：**身近なテーマでSDGsを実現するための「学び合いの場」づくり手法を学ぶ  
**対象：**市役所職員、コミュニティセンター職員、中学校教員  
**日時：**2024年11月11日（月）15:00-16:30（90分）  
**会場：**坂井市役所 3階大ホール  
**講師：**中部地方ESD活動支援センター（環境省中部環境パートナーシップオフィス=EPO中部）

坂井市では、各種事業や学校教育を通じて、様々な学び合いの場をつくり、「対話の文化」を育てています。例えば、ストップ地球温暖化対策授業・ゼロカーボン市民ワークショップ（環境推進課）、まちづくりカレッジ・幸福実現まち未来トーク・自治会ワークショップ（市民協働課）、ふるさと学習（教育委員会）など様々な学び合いです。坂井市総合計画の将来像は、「輝く未来へ… みんなで創る希望のまち～子どもたちの夢を育むふるさと」を目指して～」市民一人一人の力を生かすこの将来像を実現するために、行政と市民が一緒に、協働で新しい対話の場をつくる方法を学んでみませんか？

### プログラム

- ESD for SDGs 解説 10分
- 企画づくりワーク 30分
- ペルソナワーク 20分
- （企画のブラッシュアップ）
- 全体シェア 15分
- ふりかえり 15分

### 「学び合いの場」を作ろう！

地域づくりには人づくり、人づくりには学び合いが不可欠です。学び合いの場をつくることで、地域課題の解決やSDGsの実現に向けた取り組みが促進されます。本セミナーでは、実践的な学び合いの場づくりの手法を学び、地域課題の解決やSDGsの実現に向けた取り組みが促進されます。

### ①for 坂井市職員(10名)

それぞれの部署で、SDGsの視点から施策にアプローチし、市民と協働で実現するために、どんな学び合いの場づくりができるのか、企画の立て方、協働の仕方などのノウハウが学べます。R7年度の予算編成と連携させながら、地域に根差した事業展開のヒントが得られます。

問合せ：環境推進課

### ②for コミュニティセンター職員(10名)

まちづくり協議会や地域住民の皆さんと、SDGsを地域で進めるための学び合いの場づくりを展開するために、テーマ、企画、プログラムのつくり方などのノウハウが学べます。「2024未来トーク」から見えてきた、課題解決のためのヒントが得られます。

問合せ：市民協働課

### ③for 中学校教員(10名)

探究学習の中で、地域や行政と連携しながらSDGsの学びを深めていくために、身近な地域課題の見つけ方、深掘りの仕方、地域や行政とのつながり方などのノウハウが学べます。ふるさと学習や課題解決型授業、シティズンシップ教育に使えるヒントが得られます。

問合せ：学校教育課

# オ 冊子・動画の作成・公表・配布（ESD ワークブックの活用方法のとりまとめ）

- 有識者検討会では、学び合いの場①②、実践活動の実施結果等をもとに、第6期に作成した「現場から学ぶESD 学びの場づくりワークブック」の活用方法についてとりまとめた。
- また、その活用方法の周知・普及を目的に、冊子（ワークショップ用ツール資料）と動画を作成し、中部地方 ESD 活動支援センターウェブサイトで公開するとともに、関係者への配布等を行った。

冊子・動画等の掲載 URL : <https://www.epo-chubu.jp/tool/esdworkbook>

## ①作成した冊子（ワークショップ用ツール資料）

セミナーなどの企画運営者を育てる！

気候変動教育～  
ESD学び合いの場づくり企画ワークショップ  
【やり方と解説】

「ESD学び合いの場づくりワークブック」  
を使って・・・



環境省EPO中部・中部地方ESD活動支援センター  
学び合いプロジェクト有識者検討会（2025年3月）

ESD学び合いの場づくり企画ワークショップ

- 企画運営者のESDスキルアップを図ります  
地球温暖化防止活動などの普及啓発や出前授業などで、気候変動教育としての機会を充実させるため、様々なESDとしての学び合いの場の企画運営スキルの上を目指す。

**ワークショップのミッション：気候変動教育の場の企画書を作る**

最終的に左の用紙に記入したり付箋を貼ったりしてESDの場の企画書案を作成します。
全部で120分程度の時間枠を想定しています。
4～5人のグループいくつかで行うことを想定しています。
左の用紙は個人で書き込めるA3程度でも良いですが、グループメンバーみんなで話し合えるように、できるだけ大きなものを使いましょう。
中部地方ESD活動支援センターが作成した「ESD 学び合いの場づくりワークブック」を教材として使います。

ワークショップのプログラム

10分	【アイスブレイク】自己紹介とリーダー選び	グループでの作業を円滑に進めるためにお互いを知り、リーダーを選びます。
20分	【インプット】ESDとしての「学び合いの場」づくりについて	ワークショップの目的と意義について説明します。企画運営者のESDスキルアップを図る重要性を理解してもらいます。
25分	【ディスカッション1】SDGs学習も考慮したテーマの設定	グループごとに企画する「学び合いの場」のテーマをSDGsも考慮して決めます。普段からやりたいと思っているテーマが良いでしょう。
15分	【ディスカッション2】学び合いの場の形式検討	セミナーなのかワークショップなのか、どのように形式で「学び合いの場」を作るか検討します
10分	<休憩>	必ず休憩を入れましょう
20分	【ワーク1】学び合いの場の企画づくり	グループごとに話合って実際の企画を考えていきます。その内容を用紙に貼ったり、記入します
10分	【ワーク2】企画内容のSDGsチェック	記入した企画がSDGsの学びに貢献するかをチェックします
20分	【ワーク3】企画のブラッシュアップ	考えた企画でいまいかが検討します。別人になりますと忌憚のない議論ができます。
10分	【プレゼン】議論した内容を発表	議論の内容を共有しましょう

**【アイスブレイク】自己紹介とリーダー選び**

【アイスブレイク】ではグループでの作業を円滑に進めるためにお互いを知り、リーダーを選びます。

例えば民主的にリーダーを決めるために・・・

- ①各自1分間の自己紹介
- ②それぞれの人柄がわかったところでリーダーを各自心の中で決める
- ③全員目を閉じて心の内に決めたリーダーを指し示す
- ④合図とともに目を開けると指し示した人数が一番多い人がリーダー！（同数の場合はじゃんけん）

**【インプット】ESDとしての「学び合いの場」づくりについて**

【インプット】ではワークショップの目的と意義について説明します。企画運営者のESDスキルアップを図る重要性を理解してもらいます。

例として・・・  
「ESD学び合いの場づくりワークブック」とともに、以下の12枚のスライドを使ってESDの重要性と企画の着眼点について説明します

ESD学び合いの場づくりに役立つワークブック

気候変動教育・学び合いの場づくりのために企画運営力を伸ばすための虎の巻

地域づくりは人づくりから始まります。そのとき大切なキーワードが「ESD」と「SDGs」。「なんか巷ではやっているSDGs。関係あるのかなあ。勉強会が必要かなあ。なんか教育現場でESDとも言っているなあーそんなとき、このワークブックはきっと役に立ちます。

ESDってなんだろう？  
SDGsのための人づくりってなんだろう？

そんな基本的なことから、何を目標にするんだ？  
どんな分野があるんだ？  
どんなやり方があるんだ？  
どんな人を呼べばいいんだ？  
実際に何をすればいい？  
それで役に立つのか？  
といった実践的なことまで、考えるヒントが満載です。



いろいろな場面で悩みはさまざまです。学びの目的は何でしょう？

### 企業でも

CSRの推進を社長の命じられたが、SDGsが流行らしい。何をすればいいのかわからない。何をすればいいのかわからない。何をすればいいのかわからない。

**学びの目的**  
SDGsの推進を促され、地域への貢献の形を考えたい。

### 福祉協議会でも

事業も新しいものに変わっていき、だいたい生涯学習講座なんて聞かなくなりました。学びの場をどうやってつくるか、人があるまでです。どうやってつくるか、人があるまでです。

**学びの目的**  
【自分ごと】事業の上、地域づくりを推進し、活動から学ぶ。

### 自治会でも

自治会への参加が求められてきた。でも、今の自治会のルールの問題もあるし、選挙の準備も大変だし、問題も山積みだ。どうやってつくるか、人があるまでです。

**学びの目的**  
自治会が代わった地域への貢献を学びたい。

## もちろん学校でも

**持続可能な社会のための「学びあいの場」が大切！**

## 地球・地域づくりは人づくりから始まります

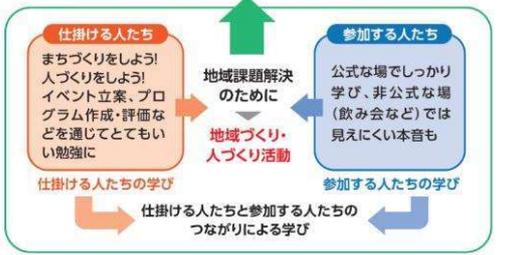
ESD Education for Sustainable Development  
(持続可能な開発のための教育)  
SDGs Sustainable Development Goals  
(持続可能な開発の到達目標)



住み続けられるよりよい地球社会の目標がSDGs  
そのために持続可能な地域ローカルSDGsを目指す  
そうした地球・地域社会を担う人づくりがESD

## 「学びあいの場」が必要 地域づくり (SDGs) は人づくり (ESD)

### 目指したい地域のビジョン、人のビジョン



地域づくりは人づくりから、すなわちSDGsはESDからです。そこでは地域づくり活動を仕掛ける人、参加する人、みんなが学び、学びあひ、地域の課題解決に向けて「人」が動かされていくことが大切です。

## 「楽しい」がいちばん！企画の糸口を見つけよう！

座って退屈な話を聞くことにあなたは耐えられますか？人は「楽しい！」「おもしろい！」と思ったときに最も学びの力が高まります。

### 自分たちが楽しむ！

仕掛ける人たちが楽しいと思うイベントを企画しましょう。そのためには参加者に楽しんでもらうことが何より大切です。楽しんで作り上げた「学びあいの場」で参加者に楽しんでもらえたら…絶対「楽しい！」



### 外に出てみる！

百聞は一見に如かず。学びの場は「まち」や「里山」、家の「近所」にもつながっています。草むしりやゴミ拾いにも新たな発見があります。たくさん歩いて、体を動かして、みんなとおしゃべりしたら…絶対「楽しい！」



### 話し合いから気づく！

勉強勉強は一人だから辛い。あるテーマで他の人と話し合ったり一緒に何かを作ったりしたら、それだけで楽しいです。そしてある時、目から鱗が落ちることがある。話し合いから気づきが生まれる体験は…絶対「楽しい！」



### ゲームで学びを遊ぶ！

イベントにゲームの要素を取り込むとテンションが上がります。大人も子どももゲームが大好き。スタンプラリー、クイズ、カードゲームなど、これらを通じて新たに知りたこと、考えたり、遊びながら学べたら…絶対「楽しい！」



## 学びあいの場の企画を具体化する

### ●最初に考えること●

学びあいの場づくりの目標は何ですか？  
どんな人に参加してほしいですか？

企画を考える上で一番大切なのは、この二つです。予算や会場などの制約はありますが、イベントの目標と参加者像を明瞭にすることが重要です。(上司への説明のためにも！)

## 学びあいの場の企画を具体化する

学びの目標と参加者像が決まったら、テーマやプログラムを考え、それに必要な人を見つけていきます。

### テーマ

分野はどこからでもSDGsですべて扱える

イベントの題材は何を取り扱っても構いません。現代社会の課題を捉え、持続可能性の問題を避けて逃げることはできないからです。SDGsの17のゴールがすべての分野をカバーしていることからわかります。できれば具体的なテーマから取り上げたり、広範囲の分野と関連させたりすると興味も広がります。



### プログラム

ストーリーで参加者をひきつける

いくつかの話題提供によるインプット、野外活動、ワークショップやディスカッションなどから構成する場合、全体の流れが参加者に見えるようなストーリーがあるとわかりやすくなります。参加者はそれぞれの活動にどんな構成で参加すべきかわかるからです。



### 人さがし

専門家を頼めますか？

研究者などの学識経験者にお話しする場合は紹介者を通じて行うのが一般的ですが、最近は大学などで学外連携拠点を設置しているケースもあります。また、アパレルなどの分野に精通することでもできます。いずれの場合も、日時や場所、料金を確認していただく、費用、条件などを事前に確認していただくことが重要です。



### 人あつめ

参加してほしい人に声をかける  
どんな人に集まっていきたいかを明確にしたら、その人たちに声をかけます。方法はさまざまで、直接一人ひとりに声をかける場合ももちろん、広報誌やWebページで不特定多数に発信することもあります。イベント開催や開催準備によって必要なアプローチのデザインが必要です。また、イベントはオンラインを活用したり、既存の会合に合わせて実施することも考えられます。



## 実践体制をどのように構築するか

### 人

誰が必要？ 人脈やネットワーク  
学びあいの場を築くには、多岐にわたる関係性を持つ目的のインプットが欠かせません。そうした情報をもつて有用な人、情報を伝えることのできる人、必要です。また、話し合いや気づきを生むファシリテーター、会場を効果的に使えるコーディネーター、有志なボランティアのコーディネーター、必要に応じて専門知識を持つ人材も必要です。

### もの

どんなものが必須？ 情報共有の場やツール  
学習活動に集まるための「場」が必要です。大勢の人が集まるための会場やツール、広めの会議室、机、椅子、プロジェクターやパソコン、マイクなどの設備、持ち帰りなどのために必要なワークショップや資料の準備も必要です。また、野外での活動や情報共有の場、空間にも必要です。お昼を食べてもらうことも必要です。

### こと

どんなことが関係？ 効果-情報関係について  
そのイベントは、なぜ、その場に、その場で、そのテーマで開くのか、という点も考えなければなりません。他のイベント、別の場、別のテーマ、別の関係性など、異なる点も考えなければなりません。また、「なぜ」が関係している点も考えなければなりません。また、「なぜ」が関係している点も考えなければなりません。

### 金

いくら必要？ 開催費  
人件費、消耗品、印刷費、印刷費、交通費などのコストを事前に把握しておく必要があります。会場や場所の確保も必要です。また、そのためには十分な準備金も必要です。また、そのためには十分な準備金も必要です。また、そのためには十分な準備金も必要です。

学びの場づくりには、「人」、「もの」、「こと」、「金」が必要です。いずれも「協働」のノウハウです。

## 企画を考える！

### 学びあいの場づくり 企画ワークシート

<p><b>学びの目的</b> このイベントを通して何を達成したいのかを明確にする。</p>	<p><b>テーマ</b> このイベントのテーマを明確にする。</p>
<p><b>参加者像</b> このイベントに参加してほしい人を明確にする。</p>	<p><b>開催日時</b> このイベントの開催日時を明確にする。</p>
<p><b>開催場所</b> このイベントの開催場所を明確にする。</p>	<p><b>プログラム</b> このイベントのプログラムを明確にする。</p>
<p><b>主催者</b> このイベントの主催者を明確にする。</p>	<p><b>協賛者</b> このイベントの協賛者を明確にする。</p>
<p><b>予算</b> このイベントの予算を明確にする。</p>	<p><b>リスク</b> このイベントのリスクを明確にする。</p>

### 企画を考えて実践した事例！

#### 事例1 海沿いからSDGsを考える

**STEP 1 企画をする!**

① 目的・趣旨を明確にする  
② 対象者・参加者を決定する  
③ 開催日時・場所を決定する  
④ 企画内容を決定する  
⑤ 予算・費用を算出する  
⑥ 企画を承認・承認状を得る

**STEP 2 実践にあたり!**

① 開催日・場所の確保  
② 参加者の募集  
③ 当日の準備  
④ 当日の実施  
⑤ 事後の振り返り

#### 事例2 海から気候変動を考える

**STEP 1 企画をする!**

① 目的・趣旨を明確にする  
② 対象者・参加者を決定する  
③ 開催日時・場所を決定する  
④ 企画内容を決定する  
⑤ 予算・費用を算出する  
⑥ 企画を承認・承認状を得る

**STEP 2 実践にあたり!**

① 開催日・場所の確保  
② 参加者の募集  
③ 当日の準備  
④ 当日の実施  
⑤ 事後の振り返り

### SDGsに向けてどんな人が必要なのか

ESDの学習目標 ユネスコ8つのキーコンピテンシー

キーコンピテンシー	内容
①システム思考コンピテンシー	複雑な関係をまるごと見る
②予測的コンピテンシー	様々な未来を考える
③規範的コンピテンシー	規範に基づき行動する
④方略的コンピテンシー	戦略的に計画を立てる
⑤協働コンピテンシー	互いを尊重して協力する
⑥クリティカル(批判的)思考コンピテンシー	鵜呑みにしないで考える
⑦自己認識コンピテンシー	自らを知り動く
⑧統合された問題解決コンピテンシー	全体を見渡し解決を探る

この中から一つでも二つでも大事なことをしてもらうことが大きな学習成果となります。

### 実施した結果を把握する重要性

●学習効果を測定した例(2022年度学生サミット)

オンライン交流会の事前と事後でアンケートを取り、5段階で点数化した平均値を比較しました。それぞれアンケートフォームを用いて回答してもらっています。

事前の回答に比べて事後の回答の点数がすべての項目で高くなっており、「これからはそう考えている」という意向が形成されたことがわかります。交流会によってSDGs時代を担う人づくりの上での学習効果が現れたと考えられます。

5件法平均値	事前	事後	項目
環境問題に関心があること	3.82	4.42	N=33
気候変動を心配している	3.85	4.42	N=33
気候変動の原因を知りたい	3.54	4.07	N=33
気候変動対策を知りたい	3.21	4.45	N=33
気候変動対策に関心があること	4.18	4.59	N=33
気候変動対策に関心があること	3.75	4.45	N=33
気候変動対策に関心があること	4.09	4.64	N=33
気候変動対策に関心があること	3.54	4.52	N=33
気候変動対策に関心があること	3.80	4.55	N=33

### 【ディスカッション1】

#### SDGs学習も考慮したテーマの設定

【ディスカッション1】ではグループごとに企画する「学び合いの場」のテーマをSDGsも考慮して決めます。普段からやりたいと思っているテーマがよいでしょう。

### 企画づくりテーマ設定方法の例

(地域地球温暖化防止活動推進センターや推進員の場合)

5つの分野から企画を考えたい分野を選び、グループごとに決めます。その分野におけるテーマを考えます。

**【分野】**

- 食を巡るつながりから気候変動を考える【食】
- 人の移動(交通)から気候変動を考える【交通】
- 家のつくりや生活から気候変動を考える【家庭】
- 流域地形と自然災害から気候変動を考える【防災】
- 自然環境への影響から気候変動を考える【自然】

その他

**【テーマの例】**

- 食品ロスを抑えるためにできること
- 公共交通を使おう！ワークショップ
- ZEHの良さを知って住み替えを考えよう
- 気候変動は地域の豪雨被害の原因か
- 外来種が多くなっているのは気候変動の影響か

### そのテーマの目標は？SDGsとの関係性は？

企画する「学び合いの場」のアウトプットはなんでしょう。そしてアウトカムやインパクトはなんでしょう。学び合いの場の成果を「アウトプット」、参加者の変容を「アウトカム」、地域・社会への貢献を「インパクト」とするとともに、SDGsも考慮してテーマを検討しましょう。

### テーマ設定の時に使えるワークシートの例

企画を考えたい分野を選ぶ(あとで変わっても構わない)	1. 食を巡るつながりから気候変動を考える【食】 2. 人の移動(交通)から気候変動を考える【交通】 3. 家のつくりや生活から気候変動を考える【家庭】 4. 流域地形と自然災害から気候変動を考える【防災】 5. 自然環境への影響から気候変動を考える【自然】 その他
テーマを検討する(あとで変わっても構わない)	
目標とする成果(アウトプット)	貢献するSDGs
参加者の変容のねらい(アウトカム)	
社会への貢献のねらい(インパクト)	

### 企画ワークシート用紙にテーマと目標を記入していきましょう

目的や分野を表すキーワードをテーマに使ってみよう。キャッチーで短いタイトルを考えよう。サブタイトルも活用しよう。

何のために開くのか、どんな持ち帰りをしてもらうのか、イメージしよう。イベントを開くことは、目標ではありません。

だれに来てほしいのか、持ち帰った先も考えてイメージしよう。

## 【ディスカッション2】 学び合いの場の形式検討

セミナーなのかワークショップなのか、どのように形式で「学び合いの場」を作るのか検討します

### 学び合いの場の形式検討

学び合いの場で行う方法の大体を考えます。

単独でも、組み合わせても

- ・講演
- ・ワークショップ
- ・野外体験・視察
- ・パネルディスカッション
- ・フロアディスカッション
- ・座談
- ・ブース展示

その他いろいろ

学び合い形式 考えられる形 式にできるだけ	<input type="checkbox"/> 講演 <input type="checkbox"/> 発表会 <input type="checkbox"/> パネルディスカッション <input type="checkbox"/> グループディスカッション <input type="checkbox"/> ゲーム <input type="checkbox"/> 試食 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> 個人ワーク <input type="checkbox"/> 視察・観察会 <input type="checkbox"/> 屋外ワーク <input type="checkbox"/> 展示・ブース <input type="checkbox"/> その他( )
-----------------------------	---

## 【ワーク1】 学び合いの場の企画づくり

グループごとに話合って実際の企画を考えていきます。その内容を用紙に貼ったり、記入します

### 企画ワークシート用紙に内容を添付したり記入していきましょう①

#### 日時・場所、プログラム

●企画内容 日時・場所 プログラム	●必要なもの、考慮すべきこと もの) こと) 金) など 人) こと) もの) 金) など	もの) 場所は室内か、 室外か、広さの規模も イメージしよう こと) 他のイベントとの 連携、時期やタイミン グも考えよう。 金) 会場費のことも頭 の隅に置いておこう。
-------------------------	---	--

どんな時期がよいか、週末か平日か、場所のイメージは、

どんな分野のどんな内容で行うか、具体的な内容を考えよう。  
 講演?  
 話題提供?  
 ディスカッション?  
 ワークショップ?  
 組み合わせも重要。  
 併せて登壇者もイメージしよう。

人) 誰にお願いすればよいか。登壇者の人選から企画が始まることもある。こと) 時間帯や全体の流れをイメージしてみよう。もの) しつらえやワークショップの道具もアイデアがあれば考えておこう。金) 登壇者が遠方の方だったりと、有名人だったりだとするとお金がかかる。ある程度考えておこう。

### 企画ワークシート用紙に内容を添付したり記入していきましょう②

#### 主催と協力者の確認、どうやって人集めをするか

●企画内容 主催と協力者 (共催・後援) 人あつめ (参加者)	●必要なもの、考慮すべきこと 人) 金) など 人) こと) 金) など	人) 協力してもらえ る組織はどこか? 誰か相談 できる人はいるか? 思 いついたらメモ。 金) ただでは協力して もらえないこともある。 人) 学校や町内会など、募 集であてになる組織は あるか。 こと) チラシを作ったり、 Webに載せたりと、方法も いろいろ。 金) メディアにうまく取材し てもらえばお金もかから ない。
---	--	--

単独で開催するのか、協働して行うのか、協力者はあるのかなどを考えておこう。

どんな方法で参加者を募るか、イメージをもとう。

### 記入、添付するとこんな感じ

(注: 旧バージョンの用紙で作っています)

## 【ワーク2】 企画した学び合いの場についての SDGsチェック

記入した企画がSDGsの学びに貢献するかをチェックします

### 確認しよう! 考えた企画はSDGsとどのように関連しているか

1. 中央に企画内容を記入
2. どのSDGsとどんな関連があるかを線で結んで記入
3. 書いた内容を共有してお互いに修正

### 【ワーク3】 企画のブラッシュアップ

考えた企画でいかどうかを検討します。別人になりすますと忌憚のない議論ができます。

例) ペルソナワークショップ  
選んだペルソナになりきって企画を見直す！  
①企画者、②企画者の上司、③財政担当、④一般市民

ブラッシュアップの議論 例) ペルソナワークショップ

選んだペルソナになりきって以下の手順で企画を見直す！  
例) ①企画者、②上司、③財政担当、④一般市民

1. シート記入内容のうち、「見直した時の課題点」をグループ内で共有
2. 「企画の課題を解決するには」のメモなども元に議論
3. 企画内容を修正、ブラッシュアップ

32

ペルソナワークショップ用ワークシートの例

ペルソナ概要	(○をつける) ①企画者、②上司、③財政担当、④一般市民
名前(仮名) どんな視点でクリティカルに見るか	
見直した時の課題点	
課題を解決するには	

33

### 【プレゼン】 議論した内容を発表

議論の内容を共有しましょう  
それぞれの発表は簡潔に  
時間を区切って余所のグループを見て回る  
方法もあります

## ②作成動画とその公開

公開した動画の URL : <https://www.youtube.com/watch?v=NQapUI4dz7M>

# ESDワークブックを活用して企画運営するために！

ESDを実施する企画運営者スキルアップのためのワークショップパッケージ(試案)を公開・解説しています

URLはこちら⇒ <https://www.epo-chubu.jp/tool/esdworkbook>

ESDワークブック



ワークショップパッケージ(試案)スライド



ESD学び合いの場づくり企画ワークシート (Vr.2)



ワークショップパッケージ説明動画

<https://youtu.be/NQapUI4dz7M>



# 【ワークショップパッケージスライドと動画をウェブサイト上で公開】

## ESD学び合いの場づくりワークブック

ESDワークブックを活用して企画運営するために  
～パッケージスライドと説明動画をご活用ください！～

ESDを実施する企画運営者スキルアップのための《ワークショップパッケージスライド》と《ワークショップパッケージ説明動画》を公開しています。是非ご活用ください。

ESD学び合いの場企画ワークショップパッケージスライド (3,698KB)

セミナーなどの企画運営者を育てる！

気候変動教育～  
ESD学び合いの場づくり企画ワークショップ  
【やり方と解説】

「ESD学び合いの場づくりワークブック」  
を使って・・・



環境省EPO中部・中部地方ESD活動支援センター  
学び合いプロジェクト有識者検討会（2025年3月）

ワークショップパッケージ説明動画はこちら

いろいろな場面で学びはさまざまです。学びの目的は何でしょう  
ワークショップパッケージ説明動画

企業でも、気候変動と、化石燃料の歴史をはじめとした人間の活動を主眼として、SDGsの目標達成を促し、地域社会の発展を促す。

福祉協議会でも、高齢者の生きがいや、地域の活性化を促す。また、SDGsの目標達成を促し、地域社会の発展を促す。

自治会でも、自治会の活動や、地域の活性化を促す。また、SDGsの目標達成を促し、地域社会の発展を促す。

もちろん学校でも、持続可能な社会のための「学び合いの場」が大切！

見る YouTube

## 地域づくり・生涯学習・企業研修の企画に！ ESD学び合いの場づくりワークブック

地域づくりは人づくり、学びから未来へ  
ESD「学び合いの場」を企画運営する方は是非ご参照ください。

ESD学び合いの場づくりワークブック (見開きPDF/1,946KB)

地球市民へ！

地域づくりは人づくり、  
学びから未来へ

ESD for SDGs

理社から学ぶ！  
学び合いの場づくり  
ワークブック

理社づくり  
企業研修  
生涯学習

中部地方ESD活動支援センター  
SDGs社会教育研究会WG

あ と が き

本ワークショップの開催を企画したSDGs推進ネットワークでは、これまで分野でESD推進を支援してきました。本ワークショップの開催を通じて、SDGsの目標達成を促し、地域社会の発展を促す。

2023年12月 中部地方ESD活動支援センター  
環境省EPO中部・中部地方ESD活動支援センター  
SDGs社会教育研究会WG

※参加情報一覧(2023年12月版)

開催1 理社から学ぶESD推進ネットワーク  
開催2 理社から学ぶESD推進ネットワーク  
開催3 理社から学ぶESD推進ネットワーク  
開催4 理社から学ぶESD推進ネットワーク

地域づくりは人づくり、学びから未来へ  
ESD 学び合いの場づくりワークブック

ESD社会教育研究会WG

代表理事 中部地方ESD活動支援センター  
事務局長 中部地方ESD活動支援センター  
事務局 中部地方ESD活動支援センター

## カ 報告（全国フォーラムでの活動結果報告）

- 12月1日開催「ESD推進ネットワーク全国フォーラム2024」に、中部地方ESD活動支援センターによる学び合いプロジェクトの有識者検討会メンバーである水上氏とともに参加し、会場内の出展ブースで、今年度実施した学び合いプロジェクトについて報告・紹介した。



### 【作成した全国フォーラム掲示資料】

#### 学生向け、学び合いの場企画ワークショップ

開催 2024年8月23日(金)14:00～15:30(90分)

場所 愛知教育大学116サイエンスアクティビティルーム

目的 ESDワークブックを用いた「学び合いの場づくり」実施者研修用プログラムの試行

内容 大学ゼミと連携した学生向け、学び合いの場企画ワークショップ

イベントスケジュール

13:30 集合、準備

14:00～15:30 ワークショップ開催

15:30～ 振り返りディスカッション

16:00 解散

<参加者>

愛知教育大学大鹿研究室学生12名

インターン南山女子校1年4名



#### 福井県坂井市職員向け、学び合いの場企画ワークショップ

開催 :2024年11月11日(月)15:00～16:30 坂井市役所 3F大ホール

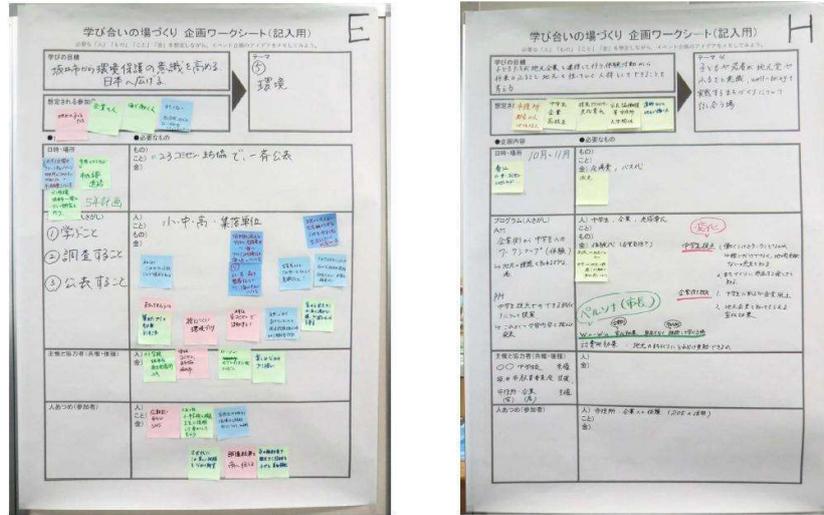
タイトル:2024 ESD for SDGs実践セミナー「学び合いの場づくり」実務者研修

目的 :ESDを推進する立場となる、自治体の職員、コミュニティセンター職員、中学校教員等を対象に、身近なテーマでSDGsを実現するための「学び合いの場」づくりの手法を学ぶワークショップを実施



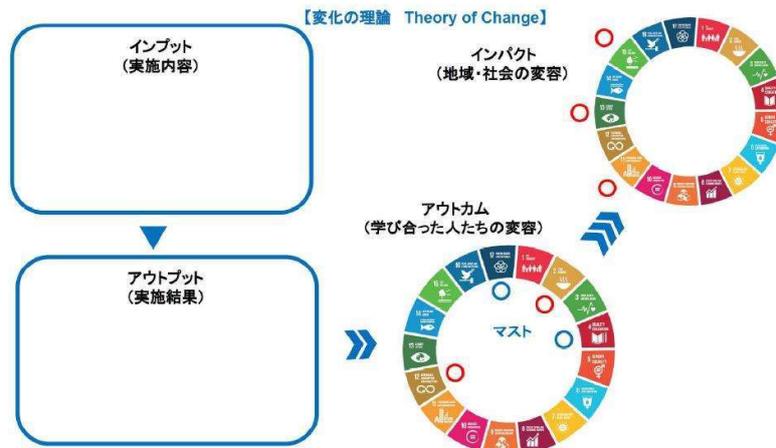
企画の内容がSDGsにどのように関係しているかをチェックします

## 学び合いの場づくりワークショップ成果（ワークシートの企画案）



## 有識者検討会議の議論：SDGsのための学びを促進するために

企画案を検討する時のSDGsチェックシート改善の検討  
 :ロジックモデルを意識した「学び合いの場」の企画のためのツールの案



### (3) ESDに関するネットワークの構築、地域 ESD 拠点への支援

#### ア ESD 推進ネットワーク地域フォーラムの開催

##### ①イベント名

中部地方 ESD 推進ネットワーク地域フォーラム「ESD：地域・学校と大学連携」

##### ②日時

- 2024 年 9 月 19 日（木）13：00～16：30

##### ③会場・設営方法

- 会場：ウインクあいち 907 会議室（愛知県名古屋市）  
※登壇者、地域 ESD 拠点登録団体のみ
- オンライン：zoom ※一般参加は zoom 参加のみ

##### ④主催等

- 主催：中部地方 ESD 活動支援センター

##### ⑤参加者

- 27 名（地域 ESD 拠点：会場参加 4 名、一般・地域 ESD 拠点等オンライン参加 23 名）

##### ⑥プログラム

挨拶・趣旨説明

第 1 部

- 基調講演「地域・学校・大学で ESD インフラを創る」  
白梅学園大学特任教授 朝岡 幸彦 氏
- 話題提供「学輪 IIDA による大学連携について」  
飯田市企画部大学誘致連携推進室室長 原 勝美 氏
- 話題提供「飛騨高山における大学連携の取組」  
飛騨高山大学連携センター長 六角 裕治 氏

第 2 部

- 地域 ESD 拠点活動紹介
- 交流ディスカッション  
コーディネーター：  
中部大学国際 ESD・SDGs センター准教授、中部 ESD 拠点事務局長 古澤 礼太 氏
- 総括 金沢大学人間社会研究域学校教育系准教授 加藤 隆弘 氏



中部地方ESD推進ネットワーク地域フォーラム

# ESD:地域・学校と 大学連携

2024年9月19日(木) 13:00~15:50

オンライン開催・参加無料

## 【プログラム】

- ▶ 挨拶・趣旨説明
- ▶ 第1部
  - 基調講演「地域・学校・大学でESDインフラを創る」  
白梅学園大学特任教授 朝岡 幸彦 氏
  - 話題提供「学輪IIDAによる大学連携について」  
飯田市企画部大学誘致連携推進室室長 原 勝美 氏
  - 「飛騨高山における大学連携の取組」  
飛騨高山大学連携センター長 六角 裕治 氏
- ▶ 第2部
  - 地域ESD拠点活動紹介
  - 交流ディスカッション  
コーディネーター：中部大学国際ESD・SDGsセンター准教授、中部ESD拠点事務局長 古澤 礼太 氏
  - 総 括  
金沢大学人間社会研究域学校教育系准教授 加藤 隆弘 氏

## 申込 方法

QRコードから申し込みサイトにアクセスしてください。➡

参加登録すると、@zoom.us または @chubuesdcenter.jp のアドレスから登録されたメールアドレス宛に招待メールが自動送信されます。



<https://us02web.zoom.us/join?secret=1230ac0qprD6wHdS42j05149LRd5ca1G>

中部ESDセンター 検索

主催事務局 / 問合せ先 中部地方ESD活動支援センター(環境省EPO中部)  
E-mail: office@chubuesdcenter.jp



中部地方ESD活動支援センター  
Education for Sustainable Development

# イ 地域ESD拠点等のESD活動の支援

## (ア) 地域ESD拠点登録団体への広報協力

- 拠点登録団体が主催するイベント等について、中部地方ESD活動支援センターウェブサイト等で下記の通り、広報協力を行った。

### 地域ESD拠点トピック

2025.03.17 イベント&ニュース 地域ESD拠点トピック  
**SDGsカードゲームセミナーを開催**  
日程：2025年4月23日(水)、4月26日(土)、5月24日(土)、5月28日(水)

2025.03.17 イベント&ニュース 地域ESD拠点トピック  
**NEXT NEWS 2024-2025を発行!**  
2024～2025年度の活動をまとめた『NEXT NEWS 2024-2025』を発行しました!

2025.03.06 イベント&ニュース 地域ESD拠点トピック  
**「PECとやまのSDGsカフェ」をお聴きください!**  
富山シティアエムの「PECとやまのSDGsカフェ」、1月からは新店长として、PECとやま 事務局長の堺さんがナビゲートしています!

2025.03.06 イベント&ニュース 地域ESD拠点トピック  
**NPOのSDGs全国調査プロジェクト2年次フォーラム『人口減少社会を超える～地域の連携で描くSDGsの未来』を開催**  
日時：2025年3月14日(金) 14:00～16:30  
場所：人権ライブラリー多目的スペース ※オンラインあり  
共催：PECとやま 他

2025.02.20 イベント&ニュース 地域ESD拠点トピック  
**エコバルなごや30周年&なごや環境大学20周年記念事業「エコバル水素ひろば」を開催**  
開催日時：2025年3月29日(土) 9:30～17:00  
水素について学べるイベントです。

2025.02.20 イベント&ニュース 地域ESD拠点トピック  
**片平学区環境学習会を開催**  
日時：2025年3月8日(土) 13:30～16:00  
場所：千鳥丘中学校体育館(名古屋市緑区)

2025.01.28 イベント&ニュース 地域ESD拠点トピック  
**ネイチャーポジティブの推進に向けて「なごやのまちとグリーンインフラ」を開催**  
日時：2025年2月21日(金) 13:30～16:40

2025.01.23 イベント&ニュース 地域ESD拠点トピック  
**なごや環境大学SDGsアソシエイト企画講座を開催**  
小学生と保護者を対象とした春休み特別講座です。  
日程：2025年3月15日(土)・3月22日(土)  
申込：2025年3月7日(金) まで

2025.01.17 イベント&ニュース 地域ESD拠点トピック  
**いのちをつなぐ水と流域・地球市民フォーラム in Tokyo 2025を開催**  
日時：2025年2月22日(土) 10:20～18:10  
締切：2025年2月17日(月) ※定員になり次第、受付終了

2025.01.17 イベント&ニュース 地域ESD拠点トピック  
**「SDGs大学生サミット2025～グローバル社会のローカルSDGs～」を開催**  
日時：2025年1月25日(土) 13:00～16:45  
場所：愛知県国際交流協会アイリスルーム(名古屋市)

2024.12.06 イベント&ニュース 地域ESD拠点トピック  
**《脱炭素を考える》基礎講座 次世代エネルギーワークショップを開催**  
開催日程～連続受講が必須です～  
2月27日(木) 9:00～17:00  
2月28日(金) 9:00～16:00

2024.11.12 イベント&ニュース 地域ESD拠点トピック  
**なごや環境大学ガイドブック2025年度前期表紙デザインコンペティションを実施**  
開学から現在までのなごや環境大学20年間の活動をイメージして自由に表現してください!  
募集締切：2025年1月6日(月)

2024.11.05 イベント&ニュース 地域ESD拠点トピック  
**【こども自然探検隊】里山たんけんを開催**  
日時：2024年11月23日(土) 10:00～12:00  
講師：(一社)ネクストステップ研究会

2024.10.24 イベント&ニュース 地域ESD拠点トピック  
**生ごみ減量手法マッチングセミナーを開催**  
日程：11月12日(火)、12月1日(日)、2月23日(日)  
講師：一般社団法人ネクストステップ研究会

2024.10.02 イベント&ニュース 地域ESD拠点トピック  
**特別公開講座「ミユニバリズムと持続可能な地域」を開催**  
開催日時：2024年10月22日(火) 19:00～20:55  
申込締切：2024年10月14日(月・祝)

2024.10.02 イベント&ニュース 地域ESD拠点トピック  
**ESDユネスコ世界会議+10Yearsフォーラム～あいち・なごやから世界へ～を開催**  
開催日時：2024年10月12日(土) 10:00～12:30  
開催場所：愛知県国際展示場 SDGs Alchi EXPO(イベントステージ)

2024.09.26 イベント&ニュース 地域ESD拠点トピック  
**「めざせ!!水の循環活～学んでみよう、水のこと～鶴舞公園の歴史と水循環」を開催**  
開催日時：2024年11月13日(水) 10:00～12:00  
申込締切：2024年10月30日(水) 必着

2024.09.24 イベント&ニュース 地域ESD拠点トピック  
**「体験の機会」を連携した教職員等環境教育リーダー養成研修～「廃棄物アート制作を通して考える」～を開催**  
環境省は「体験の機会」に認定されている市田プラント及びKAYAMAファーム(運営：加山興業株式会社)と連携した研修を愛知県豊川で10月26日(土)に開催します。

2024.09.12 イベント&ニュース 地域ESD拠点トピック  
**名古屋のごみ、どう減らす! この秋、お店のプラ調査に参加しよう!**  
日程：10月5日(土)・11月30日(土)・1月25日(土)  
★3回の講座と店頭プラ包装調査を実施します!

2024.08.21 イベント&ニュース 地域ESD拠点トピック  
**「アサリが育つ四日市の里海づくり～伊勢湾の環境を考える～」を開催**  
開催日程：10月5日(土)・10月19日(土)【全2回】  
申込締切：9月25日(水)

2024.08.05 イベント&ニュース 地域ESD拠点トピック  
**なごやSDGsスタディツアー2024を実施**  
名古屋市でSDGsに取り組む企業等と名古屋市内の小・中学校が出会い、持続可能な社会をつくる主人公、SDGsを達成する当事者としての学びあいの場をつくりまします。

2024.08.05 イベント&ニュース 地域ESD拠点トピック  
**令和5年度信州ESD/SDGsユネスコスクール実践事例集を発行**  
令和5年度「成果発表&交流会」の発表から、全国各地のユネスコエコパークを活用したESD/SDGsの実践事例を紹介しています。

2024.07.30 イベント&ニュース 地域ESD拠点トピック  
**白山ユネスコエコパーク リレインポジウム in 勝山《気候変動トークショー「地球温暖化がもたらしている変化と私たちの暮らし」》を開催**  
日時：2024年8月18日(日) 13:30～16:30  
場所：白山平泉寺歴史探遊館まほろば(勝山市)

2024.07.30 イベント&ニュース 地域ESD拠点トピック  
**第72回学生ユネスコ弁論大会を開催**  
開催日程：2024年9月28日(土)  
申込締切：2024年9月9日(月) 厳守

 <p>2024.07.17 イベント&amp;ニュース 地域ESD拠点トピック 夏休み子ども教室-鶴舞の湧き水とめぐる水-を開催 開催日時: 2024年8月8日(木) 14:00~15:30 募集締切: 2024年7月25日(木) 必着・応募多数の場合は抽選</p>	 <p>2024.05.21 イベント&amp;ニュース 地域ESD拠点トピック 映画「夢みる給食」キャラバン上映会 in アースデイとやま 2024 開催日時: 2024年6月9日(日) 13:00~15:30 (開場12:30)</p>
 <p>2024.07.05 イベント&amp;ニュース 地域ESD拠点トピック 今年も「なごやSDGsスタンプラリー」を開催します! 開催期間: 2024年7月20日(土)~9月1日(日) SDGsフィールドをめくってSDGsの取組を学びます。スタンプを集めると景品をゲットできます。</p>	 <p>2024.05.20 イベント&amp;ニュース 地域ESD拠点トピック 講座「四日市の海でアサリを育てよう」を開催 開催日程: 6月8日(土)・7月6日(土) 10:00~12:00 申込締切: 5月31日(金) 必着</p>
 <p>2024.07.05 イベント&amp;ニュース 地域ESD拠点トピック 大台町わくわくサマーキャンプを開催 開催日程: 2024年8月20日(火)~8月23日(金) 申込締切: 2024年7月15日(月祝) 17時必着</p>	 <p>2024.05.16 イベント&amp;ニュース 地域ESD拠点トピック 【参加者募集】フィールド体験&amp;NPO・企業・行政×あなたのSDGs企画大会! 開催日程: 6/1、7/6、8/28、10/20 受講対象: 大人・中・高校生・大学生</p>
 <p>2024.06.25 イベント&amp;ニュース 地域ESD拠点トピック 愛知学院大学×中部大学×なごや環境大学「SDGs普及啓発教育プログラム」受講生を募集 応募締切: 2024年9月3日(火) 必着</p>	 <p>2024.04.09 イベント&amp;ニュース 地域ESD拠点トピック 2024年度自然体験プログラムの申込受付がはじまりました 年間を通して様々な自然体験プログラムを開催。 2024年度のプログラムの申込受付がはじまりました。</p>
 <p>2024.06.17 イベント&amp;ニュース 地域ESD拠点トピック SDGsセミナー「SDGsの今、そしてこれから」と交流会 「2030年へ向けてさらにつながろう!」を開催 開催日時: 2024年6月29日(土) セミナー/14:30~16:00、交流会/16:15~17:30</p>	 <p>2024.04.08 イベント&amp;ニュース 地域ESD拠点トピック 企業事例から学ぶ!サーキュラーエコノミー(循環経済)の動向を開催 サーキュラーエコノミーって何? 企業の取組からその動向を講演形式で学びます(全4回)</p>
 <p>2024.06.13 イベント&amp;ニュース 地域ESD拠点トピック あつまれねばの森 in アンフォーレ2024を開催 開催日時: 2024年6月22日(土) 10:00~17:00 森や水の大切さについて様々なコンテンツを通して楽しく学びます。</p>	 <p>2024.04.08 イベント&amp;ニュース 地域ESD拠点トピック SDGsオンラインセミナー「地域企業が守り育てる生物多様性」を開催 日程: 5月31日(金)、6月21日(金)、7月19日(金)、8月23日(金)</p>
 <p>2024.05.23 イベント&amp;ニュース 地域ESD拠点トピック 中部サステナ政策塾(第9期/2024年度)塾生を募集 SDGs達成に向けた人材育成プログラムを実施します。 応募締切: 2024年6月17日(月)</p>	

## (イ) 拠点登録申請対応・後援申請対応

- 地域 ESD 拠点登録団体や、ESD 活動支援主体が主催するイベントについて、次表の後援申請があり、主催からの後援依頼や問合せへの対応、全国センターからの照会対応などを行った。
- 地域 ESD 拠点登録の今年度の新規申請はなかった。

### 【後援申請】

申請主体	承認日	申請行事		
		名称	開催日	場所/方法
名古屋市環境局環境企画課	5月2日	SDGs まちづくり事業	2024年6月1日~2025年3月31日	名古屋市内/対面・オンライン
公益財団法人子ども教育支援財団※	5月8日	第16回環境教育ポスターコンクール	2024年8月20日~2025年3月31日	東京都内他
アサヒ飲料株式会社 中部北陸本部	5月16日	SDGs 将来世代創造フォーラム 2024	2024年8月21日	名古屋市内(吹上ホール)
東北地方 ESD 活動支援センター※	9月10日	東北 ESDSDGs フォーラム 2024in 福島只見	2024年11月14日~11月15日	季の郷湯ら里他/ハイブリッド
信州 ESD コンソーシアム	10月2日	令和6年度信州 ESD/SDGs 成果発表&交流会	2025年2月2日~2月3日	オンライン
北陸 ESD 推進コンソーシアム	11月12日	2024年度北陸ユネスコスクール教育実践交流会	2024年12月7日	対面・オンライン併用
北陸 ESD 推進コンソーシアム	12月5日	北陸 SDGs 未来都市人材育成・教育フォーラム 2025	2025年1月25日	オンライン
北陸 ESD 推進コンソーシアム	12月23日	2024年度北陸 ESD 推進コンソーシアム成果報告会	2025年2月1日	対面・オンライン併用

※: 全ての地方センターに後援申請があった催事

## (4) SDGs 学生サミットの開催

### ① イベント名

- SDGs 学生サミット

### ② 日時

- 2025 年 2 月 1 日（土）13：00～17：30

### ③ 開催方法

- 登壇者：会場または zoom 登壇
- 一般参加（視聴）：YouTube を自由視聴（ライブ配信、アーカイブ配信）

### ④ 主催等

- 主催：中部地方 ESD 活動支援センター（環境省 EPO 中部）
- 協力：中部大学中部高等学術研究所、国際 GIS センター問題複合体を対象とするデジタルアース共同利用・共同研究拠点

### ⑤ 参加者

- 111 名（登壇大学生・高校生 23 名、その他登壇者等 14 名、開催日の視聴者 74 名）

### ⑥ プログラム

#### ○ あいさつ

環境省中部地方環境事務所

名古屋市立大学副学長 伊藤 恭彦

#### ○ 団体発表「ユースと地域が連携するローカル SDGs」

金沢星稜大学、中部大学 ESD エコマネーチーム、富山大学、松本大学  
第一学院高等学校 富山キャンパス

#### ○ 話題提供「地域の SDGs の取組～地域社会における SDGs の取組～」

岐阜県高山市 総合政策課、八洲グループ代表企業 八洲建設株式会社、  
NPO 法人イナミライデザイン

#### ○ ディスカッション

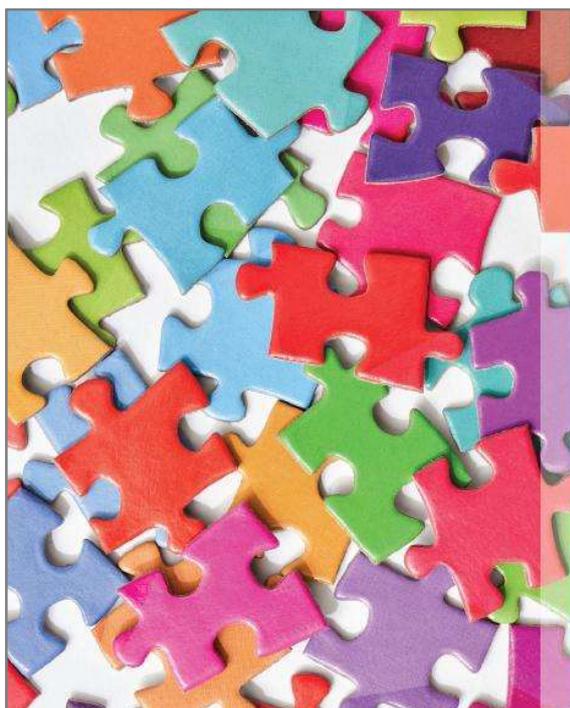
「ローカル SDGs のために。連携して協働取組を進めよう！」

進行：原 理史（中部地方 ESD 活動支援センター）

総括：伊藤 恭彦（名古屋市立大学副学長）



## ⑦開催案内



# SDGs 学生サミット

2025年2月1日(土)  
13:00~17:30・オンライン

中部地方の大学生・高校生グループが  
「ユースと地域が連携するローカルSDGs」  
をテーマにオンラインで取組を発表します。

## 発表団体 (予定)

- ▶ 金沢星稜大学
- ▶ 中部大学ESDエコマネージャーチーム
- ▶ 富山大学
- ▶ 松本大学
- ▶ 第一学院高等学校富山キャンパス

## 一般参加 申込不要

- ▶ 当日 YouTubeライブ配信を視聴できます。
- ▶ 視聴URLは webページに掲載します。



ハブとなる中部大学中部高等学術研究所  
デジタルアースルーム

## プログラム

- 第1部 団体発表  
「ユースと地域が連携するローカルSDGs」  
▶ SDGsの取組について、地域と連携して活動している大学生・高校生グループが取組について発表を行います。
- 第2部 話題提供  
地域のSDGsの取組～地域社会におけるSDGsの取組～  
▶ 中部地方のSDGsの取組をしている自治体・企業・団体から、施策や取組をご紹介します。
  - 岐阜県高山市総合政策課《SDGs未来都市2021年度選定》
  - 八洲グループ代表企業 八洲建設株式会社
  - NPO法人イナミライデザイン
- 第3部 ディスカッション  
ローカルSDGsのために。連携して協働取組を進めよう！  
進行：原 理史（中部地方ESD活動支援センター）  
総括：伊藤 恭彦氏（名古屋市立大学副学長・EPO中部・中部ESD支援センター運営委員会 座長）

Webページ  
はこちら ▶



主催 ▶ 中部地方ESD活動支援センター（環境省EPO中部）  
協力 ▶ 中部大学中部高等学術研究所、国際GISセンター問題複合体を対象とするデジタルアース共同利用・共同研究拠点

 中部地方ESD活動支援センター  
Education for Sustainable Development

## (5) 全国センターとの連携協力推進等

### (ア) 全国センター主催会議等への出席

- 全国 ESD センターから招聘された全ての会議等へ出席し、資料提供などを行った。
- 中部センターのスタッフは、全国センターの企画運営委員に地方センター代表として選任されており、企画運営委員会会議（計2回）にも出席した。

区分	回/開催日	開催方法	会場	実施内容(次第等から抜粋)
作業部会 (再掲)	第1回 7月25日	ハイブリッド	青山ブックセンター (東京)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ R6 作業部会のスケジュール及びねらいの説明及び質疑応答</li> <li>■ 話題提供:気候変動教育に関する最新動向</li> <li>■ 話題提供:気候変動教育に関する最新動向</li> <li>■ 学び合いプロジェクト説明</li> <li>■ 意見交換:R6 及び R7 学び合いプロジェクトの成果まとめ方について</li> </ul>
	第2回 2月25日	ハイブリッド	GEOC (東京)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第2回作業部会のスケジュール等の説明</li> <li>● 学び合いプロジェクトの説明</li> <li>■ 意見交換:学び合いプロジェクトの今後の進め方について</li> </ul>
全国・地方 連絡会	第1回 6月27日	ハイブリッド	GEOC (東京)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ESDに関する最新動向(文科省)</li> <li>■ ESDに関する最新動向(環境省)</li> <li>■ R6 全国センター活動内容説明</li> <li>■ 地方センター活動内容説明</li> <li>■ 行政レビューに対する進捗・結果報告及び意見交換</li> <li>■ ふりかえり・まとめ</li> </ul>
	第2回 1月17日	ハイブリッド	GEOC (東京)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 令和6年度全国センター活動報告</li> <li>■ 令和6年度地方センター活動報告①</li> <li>■ 令和6年度地方センター活動報告②</li> <li>■ 令和7年度 ESD 活動支援センター新規事業についての説明及び意見交換</li> <li>■ ESD 活動支援センターにおける評価指標の説明及び意見交換</li> <li>■ ふりかえり・まとめ</li> </ul>
全国 協力団体 意見交換 会	第1回 7月24日	リアル	ビジョンセンター 東京日本橋 (東京)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ESD に関する最新動向(奈良教育大学 教育連携講座/ESD・SDGsセンター 准教授 及川幸彦さん)</li> <li>■ ESD 活動支援センターの紹介</li> <li>■ 全国協力団体から最新の取り組み紹介</li> <li>■ ネットワーキング・名刺交換タイム</li> </ul>
	第2回 12月1日 兼催	ハイブリッド	国立オリンピック記念 青少年総合センター (東京)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 環境教育・ESD 実践動画 100 選認定証授与式</li> <li>■ ポスターセッション</li> <li>■ 基調講演:堅達京子(NHK エンタープライズ エグゼクティブ・プロデューサー)</li> <li>■ パネルディスカッション</li> </ul>
全国 フォーラム	12月1日			
企画運営 委員会	第1回 6月27日	ハイブリッド	GEOC (東京)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 運営委員自己紹介</li> <li>■ 令和5年度地域 ESD 拠点年次アンケート結果報告及び意見交換</li> <li>■ 令和6年度全国センター活動内容の説明及び意見交換</li> <li>■ 行政事業レビュー結果報告及び意見交換</li> </ul>
	第2回 2月28日	ハイブリッド	GEOC (東京)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 令和6年度 ESD 活動支援センター活動報告、質疑応答・意見交換</li> <li>■ 令和7年度 ESD 活動支援センター活動計画、質疑応答・意見交換</li> </ul>
行政レ ビュー意 見交換会	7月25日	ハイブリッド	青山ブックセンター (東京)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 各センター発表</li> <li>■ フィードバック</li> </ul>

### (イ) ESD 推進ネットワークの活動状況調査等への協力・対応

- 全国センターが地域 ESD 拠点を対象に実施した年次アンケートについて、協力の呼びかけ等を中部エリアの地域 ESD 拠点団体に対して行った。

## (6) ESD 推進のための教育現場等の実態把握と連携強化

### (ア) 専門家への包括ヒアリング

ヒアリング対象	白梅学園大学 朝岡幸彦 特任教授
実施日	2025 年 1 月 25 日 9:00~11:00

#### ○専門領域における現在の ESD/SDGs の取組について

- 専門は環境教育と言って良い。元々北海道大学で社会教育の特に農民教育の研究をしていた。1995 年に東京農工大に着任し環境教育の専門課程の研究を担当することになった。
- 環境教育は 1990 年代に飛躍的に発展している。環境教育学会が 1990 年に設立されたのがその大きな原動力となった。その発展の過程において環境教育の研究を行ってきた。
- 最近では長野県飯田市遠山郷における実践研究がそれに当たる。今年度から来年度にかけては新しく高校生 ESD 塾の運営に関わっている。
- ESD の概念自体は特別なものではなく、日本で言うなら例えば環境教育の他に、平和教育、民主化教育、公害教育、農村教育などは概念的に ESD の要素を含んでいる。
- 環境教育の発展は、地球環境問題の深刻さについて日本の政府や自治体、各地の実践者が重要性を認識したことによっており、これらの間でのパートナーシップを促進した側面がある。また 1992 年の地球サミットで環境教育に ESD (Education for Sustainable Development) という概念が導入されたことは、その後の環境教育と ESD に大きな影響を与えた。
- 2002 年ヨハネスブルグ・サミットにおいて、我が国より ESD の 10 年が提案され、持続可能な開発に関する世界首脳会議実施計画に盛り込まれた。このような過程の中で環境教育の視点から ESD がより広範囲に影響を与えており、環境教育が ESD の一翼を大きく担っているという認識である。

#### ○ESDfor2030 と「実施計画（第 2 期 ESD 国内実施計画）（案）」についてのお考え

- 国内実施計画に関しては、策定された時点ではその通りだと思うし、それなりに適切な計画だったと思う。
- ただ 2025 年現段階においては、コロナパンデミックの影響と社会の急激な変化、そしてトランプ政権の復活による世界的な政策の SDGs との矛盾が世界に及ぼす影響、などについての対応が、あたりまえだが、取り入れられていない。
- すなわち以前からの気候変動等に加えて、ここ数年の世界情勢の変化も加えて地球文明のリスクが高くなってきており、ESD もこれらに対応しなければならない。
- これらの要素が計画に反映されていないことから、ESD の実施や実践のあり方を見直す必要があると言える。これらの変化に対応し、前向きに取り組むことが新しい ESD の課題であると考えられる。
- また、ESD の国民への定着状況が問題だと感じている。例えば SDGs の認識はゴール個別バラバラで、統合的につながりを整理して課題を可視化するような視点での記述が必要なかもしれない。

#### ○学習指導要領における ESD とその推進についてのお考え

- 学習指導要領には持続可能性に言及はあるが ESD は実はちゃんと記載されていない。これは大きな問題だと考えている。これでは現場での ESD への対応は現実的には促進しない。
- 具体的な指導資料の整備が必要である。例えば環境教育指導資料のような具体的なガイドラインが ESD の実践に不可欠で、その際にそれぞれの地域に根ざしたアプローチが重要と考える。

- 飯田市での ESD 塾の取組はその一つの例で、地域の特性を生かした教育の実践が ESD 促進の可能性を示唆していると考える。

#### ○我が国の ESD 推進全般についての現状の課題と将来についての考え

- コロナ渦で実は社会は劇的に変化した。例えば学校にはタブレット端末が一人一台整備された訳だが、通常ではあり得ない整備速度と言って良い。つまり大きな社会影響は教育現場にその転換を促進する効果があると言える。
- そうした意味では教育現場を ESD に向けて推進する重要な社会的影響が二つ考えられる。それは気候変動影響と南海トラフ地震の社会リスクの増大である。
- これらのリスクによる地域の課題解決について議論し、気候変動や災害の教育を入口とした ESD の推進を図ることは、地域の持続可能性と強靭性を高めるためにも重要と考える。
- 地域特有の状況を考慮しながら、避難所の運営シミュレーションや地域のリスクマップ作成など、具体的な防災活動の教育は社会の関連性、将来予測、計画性、コミュニケーションなどを学ぶ機会として ESD の推進の契機になるのではないかと。
- 例えば避難所を使うということはどういうことなのか。その災害の種類による使い方や地域での課題を学ぶというのはまさに ESD であり、避難所を実際に見ながら学べるということでは ESD インフラと位置づけてもいいのではないかと。
- ある意味で地域の課題として身近な、これらのわかりやすく問題が限定されている課題からアプローチすることがこれまでの ESD の弱点を補うことになるかと考える。
- ESD というとグローバルな問題が提示されて上から降りてくるという、やらされ感があると思うのだが、そうではなくて地域の課題を模索する学びを行うことが結果的にグローバルな課題に繋がるという形で ESD を推進することが有効なのではないかと考えている。

#### ○環境省 EPO 中部・中部地方 ESD 活動支援センターなど中間支援組織への期待

- 中部地方は東海側と北陸側とでは地域の認識に大きな差があるかもしれない。気候変動の影響一つとっても東海地域は暑熱や台風、北陸側では大雪の影響が気になるだろう。
- また名古屋市のような都市部とそれこそ飯田市遠山郷のような中山間地では、まったく地域社会の課題が違う。こうした多様な地域特性を踏まえて ESD 支援を行うことが重要だと考えられる。
- 特に東海地方の地域にとって、暑熱異常や、豪雨災害、南海トラフなど実感がわくので、中部地方 ESD 活動支援センターには防災など地域特性からのアプローチを期待している。

#### (イ) 教育部局、教育委員会、現場の教員等を対象にしたヒアリング①

ヒアリング対象	富山県立上市高校 石黒友一 教諭（農業科）
実施日	2025 年 2 月 22 日 11:00~13:00

#### ○学校の特色と担当内容

- 富山県立上市高校は総合科として教育を行っており、多様な進路に対応するため進路学習を重視し、植物バイオテクノロジー、簿記、スポーツⅣ（ダンス）、ペン習字、生活と福祉など、多彩な科目を開設している。資格に直結する実技系の科目や進学に対応する演習は、5~20名と少人数による学習できめこまやかな指導が行われている。
- 自分は農業科目が専門で、前任校では農産品パッケージ開発にも携わってきた。当校に赴任してからは単元「農業と環境」を担当し授業を実施している。

#### ○SDGs 教育 (ESD) について

- 以前から国土交通省のボランティアプログラムを活用した河川敷の外来種駆除活動を行っ

てきた。関連して環境教育として河川生物や河川水の調査を行ってきた。

- 学校レベルのESDということでは学習内容について2年生学年全体でSDGsとの紐づけを行っている。
- 担当する授業から発生した環境教育的な生徒の活動として、グリーン同好会がある。生徒を公募して、特産の里芋やキャベツなどの農業に関する研究、トマトの病気の要因にカビの成分が効果があるとの研究、竹林の有効活用としてのチップを活用したキノコ作りなどの研究を行ってきた。これらは地域と連携しなければならずまた地球環境を見据えて行うという意味でもESDと言える。
- こうした活動は同好会であるため、その継続は教員の資質による。活動が好きな先生がいれば続いていくが、そうでなければ難しい。

#### ○学習指導要領について

- 持続可能性の重要性などは、農業科目ではある意味当たり前で、学習指導要領が後から乗ってきたという印象。

#### ○地域との連携

- 学校レベルとしての地域との連携ではキャリアバイトという枠組みがある。これは社会と連携したキャリア教育としての要素が強く、学校のマッチングで生徒が様々な地元企業にアルバイトしに行くことで研鑽を積むものとなっている。意識はしていないが地域と連携したESDと言えなくもない。

#### ○今後の課題

- 生徒たちが自分事になりにくいことが問題と感じている。地球環境問題を深刻に捉えることが難しい。例えば畜産のCO2排出量を取り上げたりしているが、だからといってCO2排出量の多い牛肉パテのハンバーガーをやめて鶏肉の唐揚げにしようという話にはならない。
- 様々な産業の関連性で循環することが本当に良いのかということについて、多面的に見て教育しているか疑問なところもある。例えばオーガニックが良いというのはどういうことなのか、牛糞をリサイクルして作物を育てる場合、その畜牛は抗生物質は使われていないのか、安全性は担保されているのかまで考えられる必要があるのではないかと。

#### ○中間支援組織に期待されること

- 補助金など様々な支援を使って課外活動を行っている。これらの支援制度は学校で使えるものもたくさんあるのだが、なかなか使われていない。チラシなどを各校に配布してアピールするだけでも違うのではないかと。
- 実業系の科目のある高校は実技が伴う部分でいつもお金に困っている。少額でも良いので申請が簡単で成果を求めすぎない学校向けの支援制度があるとありがたい。

### (ウ) 教育部局、教育委員会、現場の教員等を対象にしたヒアリング②

ヒアリング対象	愛知県A市立B小学校 校長、教諭 (ESD 担当)
実施日	2025年1月30日 13:00~15:00

#### ○学校の特徴

- 本市は人権教育が盛んで、研究会やその成果としての市教委による冊子の作成など、特徴ある地域教育が行われてきた。
- 小学校としての教育目標は「善く生きる子」であり、総合的な学習ではそのために地域との連携や、特色ある学校づくりを大切に、例えば3年生「わたしたちのまちをまもるた

めに」、4年生「未来の環境を考えよう」、5年生「暮らしを支える産業」、6年生「20年後もすみたいまち」をテーマとして学習活動を行っている。

- これらの総合的な学習はふるさと学習であると同時に、ESDとして位置づけられており、相手を思いやるソーシャルスキルの習得を目的としている。

#### ○SDGs教育（ESD）について

- ESDはSDGsを達成するための教育と認識している。全学年でESDの要素を取り入れている。学習計画の中にESDカレンダーを取り入れたり、学習成果の進捗を廊下に掲示するESDすごろくに取り組むなどしている。
- 当校では平成29、30年度に地方教育事務協議会の委嘱でESD実践研究を行ってきており、ユネスコスクールにも登録した（令和6年度時点では登録解除している）。
- この研究活動は当時としては先進的であり、例えば一年生の道徳の授業でも「つながりを尊重する態度」を養うための授業研究が行われている。

#### ○学習指導要領について

- 現場レベルではESDについて学習指導要領を十分読み込んで反映させているとは必ずしも言えない。

#### ○地域との連携

- ふるさと学習の一環でJAや病院関係者の出張授業をお願いしたり、お寺や商店街などを探索するなどの地域と連携した学習を行っている。
- 地元特産の野菜の栽培から、地域に広めるためにマルシェやスーパーマーケットに出荷する活動なども行っている。
- その他消防活動や伝統産業など、地域社会と繋がった学習活動を実施している。

#### ○今後の課題

- かつてのESD研究成果が根付いているかとなると疑問が残る。どうすればその成果を継続定着できるかを問題意識として持っている。
- 様々な行事がESDとして取り込まれてきていたが、現在は行事そのものが目的化して形骸化してきている。学習計画として記載できても行事をなぞっているだけになっているのではと心配している。
- ESDの研修会を行って先生方に気をつけてもらってはいるが、プログラムをなぞっている状態で魂が込められていないのではないかと。実際にはプログラムや行事を行うのが精一杯な状態なので、いかに先生方の納得と理解が得られるかが問題となる。
- これらの行事で子供たちのモチベーションが上がってくるのが気になる場所である。
- 地域とのつながり方にも問題がある。地域のニーズに合わなくなっている。カウンターパートの高齢化で、前例踏襲では難しくなっている面もある。またつながり方が担当の先生によって違う。共有する方法が必要。
- やはり先生方が忙しすぎる。保護者対応の時間も多く、教師に欠員が出ても迅速な補充とはいかない。講師に手伝ってもらっているが、常にぎりぎりな状況にある。

#### ○中間支援組織に期待されること

- 地域と学校の連携の様々な事例の紹介があるとありがたい。
- 教員は異動があり、学校レベルでの取組の継承の仕組みが必要と考えられる。そのためのツールや仕組みがあるとよい。
- 例えばESD専門のアドバイザーに継続的に見てもらい、取り組んでいるESDが適切かのチェックや相談をできるとありがたい。

## (エ) 中小企業経営者等を対象にしたヒアリング①

ヒアリング対象	株式会社こいけやクリエイト（「とよた SDGs パートナー」登録団体） 代表取締役 西村新
実施日	2025年2月20日 13:00~15:00

### ○現在の SDGs の取組について

- 学生時代から情報発信に興味があり、2011年に今の会社を立ち上げた。もともとの本業はベースデザイン、グラフィックデザイン、Web デザインの会社。情報発信を生業としている。その中で持続可能な社会に役立つ地域情報が重要だと感じ、CSR 的に「耕 Life」という地域情報イベント発信のフリーペーパーを作成配布する活動をしており、それが SDGs の取組と言える。
- この取組は地域の置いてくれる事業者の広告料でまかなわれており、年 4 回の季刊発行で 50 号を超える実績がある。すべての号一セット全部ほしいという方もいる。
- 養蜂家の記事の作成の過程、自分で興味を持ち、現在養蜂事業を行い蜂蜜の販売も行っている。
- 様々な取材やお付き合いの中でつながりが形成され、イベントで出会った男女がこの価値観に共感して結婚し U ターン、I ターンの田舎暮らしを求めて地域に定着した例もある。
- 豊田市の地域支援課とも連携しており、フリーペーパーの設置箇所の協力や、豊田市博物館のカフェの指定管理を引き受けるなどの協働も生まれている。
- もともと「耕 Life」の発行や千年委員会の活動など、個人的には持続可能社会について前から活動していたところに、後から SDGs といういい言葉ができたと思っている。「とよた SDGs パートナー」への登録もその流れで行ったもので、特別に SDGs のための取組を行っているという意識ではない。言われれば SDGs かなというところ。
- 直接的な営業をしている訳ではなく、波風立てず自然体で仲間作りをしているのが無理しない活動に繋がっている。これらの活動で生産と消費が直につながったり、地域の有り様を可視化できているというところがフリーペーパーの特徴で、地域での様々な種まきを担っていると考えている。

### ○SDGs を推進するにあたっての ESD について

- 毎号の「耕 Life」の目次のページに、持続可能性のコンセプトが示されており、それに沿った記事が掲載されている。それが対外的な ESD と言えるかもしれない。（以下引用）
- （～前略）自分の生活の周りで起きていること、成り立ちにちょっと目を向ける、そんなことから自分の人生を耕すことは始まっていくと思います。読者のみなさんと共に「食」・「農」・「暮らし」・「環境」・「文化」について考え学んでいきたいと思います。「耕 Life」では地域に根ざした食や農、暮らしや環境、文化に関するイベントや様々な取り組みをしている方々の情報を発信していきます。この「耕 Life」をきっかけに、皆さんのライフスタイルが、人生を育てる『耕』に取り入れられますように・・・
- 読者のお便りもよくいただくが、一方向でないこうしたやりとりは教育的と思える。
- またこのコンセプトを始終目にしている社員は自然とそのような発想をするようになっていく。
- 子供たちの職場体験も積極的に受け入れており、そうした場所として ESD の場となっていると言える。

### ○SDGs/ESD の取組の課題

- あまり課題として深刻に考えていない。できる範囲で豊田市外にも広げており、ニーズがあれば外部でのことに手伝うことも考えたい。バランスが大事だと思う。
- (お金ではなくて) 豊かさとは何かということを考えながらの取組が大切だと思う。Wellbeing はその結果として評価されるべきものかもしれない。

### ○SDGs/ESD の取組の支援

- 補助金とか、人の手当てとかはもちろんあるが、個人的にはプラットフォームを維持することが大切だと考えている。例えばみんなで職場体験などのネットワークができればいい。

## (オ) 中小企業経営者等を対象にしたヒアリング②

ヒアリング対象	株式会社スズマサ (「とよた SDGs パートナー」登録団体) 代表取締役 鈴木崇義
実施日	2025 年 2 月 20 日 10:00~12:00

### ○現在の SDGs の取組について

- 本業は土木業と不動産業で、土地を通して地域づくりを行っている。とよた SDGs パートナー登録、愛知県の SDGs 登録など世の流れで行っている。
- SDGs の取組として、特別なこととしては豊田環境ビジョン協議会という関係業者 13 社の地域の土木組合があり、災害倉庫の設置などを行っている。
- SDGs の取組というのは何かを新しく行うというよりは、社会の一員としてやってはいけないことをやらない、ということではないかと考えている。例えば悪いことをしない、地域社会で必要なことはやるということではないか。
- 逆に言うと今の仕事はすべて SDGs に繋がっている。地面を扱っているので、人が暮らしやすい土地づくりを目指している。困っている人の相談を受けて、地域にお金が残るように、その人たちが暮らしやすいようにという活動は SDGs ではないか。

### ○SDGs 取組のきっかけについて

- 岐阜県の三承工業株式会社の社長さんの講演を聴いたのがきっかけ。講演の中で外国人に不動産を借りてもらった時にすごく感謝されたという話が出てきた。彼らはコンビニでたむろしていたり、野外パーティで迷惑がられているが、好きでそこでたむろしている訳ではない。そういう場を借りられず、用意することができなかったからだ、との話を聞いてすごく刺激になった。世のため人のための仕事の仕方が SDGs かと納得した。
- 外国人にも目を向けなければと、ネパールの人を社員として入れてみた。ただその人はとてもシャイで営業がまったくできず、うちのような小さな会社に向いていなかった。今は大きな企業で働いている。

### ○SDGs を推進するにあたって、社内教育 (ESD) や外部への発信について

- 社内教育の必要性はよくわかっているが十分勉強しているとは言えない。現在は社長個人のラインでの情報発信程度。
- ただ地域のお祭りに参画している関係で、社員が一人入ってくれて頑張っている。地域の祭りは住民だけでは維持できず地元企業の参加が不可欠な状況になっている。豊田青年会議所の後輩たちにも声をかけている。
- こうした地域貢献の様々なつながりは、いろいろなところに波及している。そうしたことが SDGs の学び (ESD) と言えるかもしれない。
- 経営としてのメリットは大きくない。けれど人の縁は大きい。いろいろなつながりが最後

にはもどってくるのではないか。社会活動すなわち人の縁すなわち SDGs の学び (ESD) の取組と言える。

#### ○SDGs/ESD の取組の課題

- 教育ということ言えば、その陰の部分を見るべき。例えばいじめとか、不登校とか、引きこもりとか。その一部でも社会にちゃんと参加したら重要なプレイヤーになるはず。
- 例えば教育の委員会に参加しているが、報告を見るといじめ問題は必ず解決されるということになっている。「そんなことあるかい」と常識的には思える。きれい事にして隠されていることは大きな問題なのではないか。

#### ○課題の解決に向けて、SDGs/ESD の取組の支援の方法

- 人の縁をつなぐ人、相談できる人、そういうところに手当することが少ないのではないか。
- 社会活動、スポーツや文化や環境などの分野では「縁」が大切だが、こうしたつながりを作る仕事が評価されていない。必要などころには投資を行い、できる人がその場所で働ける仕組みを作ることが重要なのではないか。

#### ○SDGs/ESD の取組の今後の期待

- 弱者に対する愛がほしい。稼いでいる企業ほど SDGs の思想が足りない。正直者が馬鹿を見る構造になっている。
- SDGs が選ばれる社会になってほしい。そのためには消費者へのうまい発信の仕方が必要。一つ間違うと SDGs の偽善者 (SDGs ウォッシュ) になる。

#### ○その他

- 気候変動は身近な問題になっている。特に屋外での仕事が多いので熱中症問題に関心をもっている。

## (7) ESD/EPO の行事等を通じた意識や行動の変容の把握

1	行事名	2025年1月15日開催 環境へのアプローチを活かした鳥羽創発ミーティング	
	対象	鳥羽市環境課 中井氏	
	方法	メールヒアリング	
	ヒアリング	内容・結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご参加いただいた皆様には、とても楽しい時間を過ごしていただいたのではないかと。</li> <li>今回のミーティングを開催し、鳥羽市の環境問題について皆で考えるよい機会となった。とりわけ、この鳥羽の美しい海を豊かな海とすべく、子ども達に託せるよう、自分たちの身近なことから行動をおこしていきたいと考えようになった。</li> <li>来年度も実施できることを期待したい。</li> </ul>
2	行事名	2024年12月7日、2025年2月22日開催 地域循環共生圏フォーラム in 上市町（全2回）	
	対象	一般社団法人環境市民プラットフォームとやま（PEC とやま） 塚氏 ※EPO 中部・協働コーディネーター	
	方法	オンラインヒアリング	
	ヒアリング	内容・結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>富山県上市町で2回開催した「地域循環共生圏フォーラム in 上市」において、参加者から「ここで終わらせずにしっかりやっていきたい」という声があった。具体的には、ハーブの提案をした古野さんは具体化するためのイメージができていた様子であった。</li> <li>柿のプロジェクトも、アイデアベースであってもフォーラムの中でしっかり考えたことで、単に柿が余っていてもったいない、あるいは、クマの被害が出るから伐採すればよいといった短絡的でない発想が得られたという変容があった。</li> <li>上市高校との関係構築もできた。上市高校の職員研修への協力を依頼されており、今回のフォーラムにより、SDGs や循環・共生といった概念を教師へ浸透させる必要があるという高校側の気づきにつながったようだ。</li> <li>フォーラムで茶木さんの取組を上市の人たちに伝えることができた意義も大きい。茶木さんのところでキャリア・バイトをしていた高校生は、高校で竹の循環プロジェクトに取り組んでいるが、今回のフォーラムによって、竹の循環のみならず、経済循環や人のつながりについても考える必要があることへの理解につながっていた。</li> <li>今年度のフォーラムで種まきはきちんとできたのではないかと感じている。今後の展開について、個人的なアイデアはあるが、ハッピー上市会で地域づくりに取り組んでいる人のところを上市会の人々が相互訪問を行ったり、学生が訪問するなどのエクスカージョン（視察旅行）を実施してもよいのでは。</li> <li>具体的には PEC とやまが毎年請け負っている大学のフィールドワークを、次年度は上市町で実施するというアイデアもある。若者、学生たちが上市町を訪問することで、地域の人々を勇気づけ、マスコミの注目も集められる可能性がある。</li> </ul>

3	ヒアリング	行事名	2024年12月7日、2025年2月22日開催 地域循環共生圏フォーラム in 上市町（全2回）
		対象	株式会社ティー・ツリー・コミュニケーションズ 茶木氏 ※EPO 中部・協働コーディネーター
		方法	オンラインヒアリング
	内容・結果		<ul style="list-style-type: none"> <li>フォーラムに参加して「自分にも何かできるのではないかと考えて自社(店舗)を訪問してくださった方や、発表したローカル SDGs アイデアの具体化の相談などが寄せられており、フォーラム開催によってこんなに人が動いてくれるのかと大変驚いた。</li> <li>今後の活動として、フォーラムで発表されたアイデア実現に向けて進めていきたい。具体的には、地域の方々や若い世代を巻き込んだプラットフォームか同好会、協議会などのグループ立ち上げが必要と考えている。</li> <li>まずは緩やかなつながりで、組織や会合を発足させた上でローカル SDGs アイデアを実現していく方法を、集まったメンバーで考えていきたい。また、自社では特産品づくりを行っているため、それに関連する部分でお手伝いできることがあれば協力していきたい。</li> <li>フォーラムで出たローカル SDGs 事業のアイデアを具体的に準備・企画等して進めていくことは、地域側の役割と考えている。また、EPO 中部とも連携し、フォーラムで生まれたアイデアを形にするために、先進事例情報の提供やスタートアップ・イベント等の開催など、何らかの形で協力も期待したい。</li> </ul>
4	ヒアリング	行事名	2024年11月22日、23日開催 自然資産を活かした地域・人づくり ESD ダイアログ 山と水と人間と ESD ダイアログ 2024～飛騨高山からの ESD 発信
		対象	岐阜県高山市 環境政策課長 清水氏
		方法	電話によるヒアリング
	内容・結果		<ul style="list-style-type: none"> <li>高山市の環境政策課が所管する「乗鞍山麓 五色ヶ原の森案内センター」の案内人がダイアログに参加しており、大きな刺激を受けたとのこと。</li> <li>五色ヶ原の地域は散策道が設けられ市外からの来訪者に対する案内を行っていたが、ESD・環境教育の観点での話も重要であることが理解でき、そのような話し方をしていこうと考えている。</li> <li>市外からだけでなく市内の住民に対してのアピールも重要で、ふるさと教育としての意義が大きいので積極的にシビックプライド醸成のために活動したいとのこと。</li> </ul>
5	ヒアリング	行事名	2024年11月11日開催 学び合いプロジェクト実践活動 2024 ESD for SDGs 実践セミナー「学び合いの場づくり」実務者研修
		対象	富山県坂井市役所 環境推進課長 北川氏
		方法	電話によるヒアリング
	内容・結果		<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者の内、環境推進課の職員については、「学び合いの場」の実際の企画の議論を行う過程で、様々な施策アイデアが出てきており、他の担当の各部署にアイデアを提供している。例えば脱炭素を進めるために木質バイオマスを使うにしても域外から導入するのではなく、県内産で薪ボイラーを使えないか森林担当部局に提案するなどの波及効果が出ている。</li> <li>市民協働課の参加者が、各地区で幸福実感ワークショップ「まち未来トーク」を並行して開催しており、企画ノウハウの習得のモチベーションも高く、本イベントでの気づきやノウハウを以降のワークショップに反映している。</li> </ul>

6	行事名	2025年2月1日開催 2024年度SDGs学生サミット	
	対象	都留文科大学准教授 田開先生（前 松本大学専任講師）	
	方法	電話によるヒアリング	
	ヒアリング	内容・結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ エントリーした松本大学の田開ゼミの学生は前年度の同イベントで構想段階の活動発表を行った後、本イベントでの発表も目標にして活動してきた、という意味で非常に大きな学びと行動変容があったと考えている。</li> <li>・ 特に活動において行政やフィールドとした動物園との連携に齟齬が生じた段階で、中部地方ESD活動支援センターにオンライン相談ができたことは非常に大きな助けになったと考えられる。</li> <li>・ 本イベントでの活動発表に向けて活動を取りまとめ、報告書にも反映できるという点でも効果的で、オンラインプラットフォームとしてゼミ学生のESDに大いに役立った。</li> </ul>

## 7 関係主体との連携及び協働に関する業務

### (1) 中部地方環境事務所との情報共有及び意見交換

#### ア 定期的な打合せと日々の業務報告の提出

##### (ア) 定期打合せ

- 中部地方環境事務所の担当官との定期的な打合せを月1回頻度で実施し、業務の進捗状況、方向性などについて協議を行った。9月以降はオンライン打合せを週1回程度行った。

	実施日等	主な打合せ協議事項
第1回	4月5日	1. 「第7期業務事業計画」「令和6年度業務実施計画」案について 2. 地域循環共生圏事業の採択団体への連絡(業務着手)について 3. ESD/EPO 運営委員会について
第2回	4月17日	1. 「令和6年度業務実施計画」案について 2. 地域循環共生圏事業の参加団体との打合せヒアリングの日程調整について 3. ESD/EPO 運営委員会について
第3回	5月14日	1. ESD/EPO 運営委員会について 2. イベント/会合業務について 3. 地域循環共生圏事業支援について
第4回	6月19日	1. イベント/会合業務について 2. 地域循環共生圏事業支援について
第5回	7月10日	1. イベント/会合業務について 2. 地域循環共生圏事業について 3. 第1四半期報告書について 4. その他(高校生インターン、アサヒ飲料主催 SDGs フォーラム出展について等)
第6回	8月26日	1. イベント/会合業務について 2. 地域循環共生圏事業について 3. 三つ折りリーフレットの改訂について
第7回	9月2日 オンライン	1. イベント/会合業務について 2. 地域循環共生圏事業について 3. その他(三つ折りリーフレット、高校生インターンについて等)
第8回	9月9日 オンライン	1. イベント/会合業務について 2. 地域循環共生圏事業について
第9回	9月17日 オンライン	1. イベント/会合業務について 2. 地域循環共生圏事業について
第10回	9月24日 オンライン	1. イベント/会合業務について 2. 地域循環共生圏事業について
第11回	10月8日	1. イベント/会合業務について 2. 地域循環共生圏事業について 3. 第2四半期報告書について
第12回	10月16日 オンライン	1. イベント/会合業務について 2. 地域循環共生圏事業について 3. 第2四半期報告書について
第13回	10月21日 オンライン	1. イベント/会合業務について 2. 地域循環共生圏事業について
第14回	11月5日 オンライン	1. イベント/会合業務について 2. 地域循環共生圏事業について
第15回	11月18日 オンライン	1. イベント/会合業務について 2. 地域循環共生圏事業について 3. 第2回運営委員会について
第16回	11月25日 オンライン	1. イベント/会合業務について 2. 地域循環共生圏事業について 3. 外部評価対応について 4. 12/22 ユース大会について
第17回	12月2日 オンライン	1. イベント/会合業務について 2. 地域循環共生圏事業について 3. 外部評価対応について 4. その他(12/22 ユース大会等)
第18回	12月16日 オンライン	1. イベント/会合業務について 2. 地域循環共生圏事業について 3. 外部評価対応について 4. 第2回運営委員会について

	実施日等	主な打合せ協議事項
第19回	12月23日 オンライン	1. イベント/会合業務について 2. 地域循環共生圏事業について 3. 第2回運営委員会について
第20回	1月6日 オンライン	1. 業務全体の実施状況の確認 2. イベント/会合業務について 3. 地域循環共生圏事業について 4. 第2回運営委員会について
第21回	1月20日 オンライン	1. イベント/会合業務について 2. 地域循環共生圏事業について 3. 第2回運営委員会について 4. 第3四半期報告書について
第22回	2月3日 オンライン	1. 業務実施状況の確認 2. イベント/会合業務について 3. 地域循環共生圏事業について 4. 第2回運営委員会 2/12について 5. 外部評価 3/4について 6. 年間報告書について
第23回	2月10日 オンライン	1. イベント/会合業務について 2. 地域循環共生圏事業について 3. 第2回運営委員会 2/12について 4. 外部評価 3/4について 5. 年間報告書について
第24回	2月17日 オンライン	1. イベント/会合業務について 2. 地域循環共生圏事業について 3. 外部評価 3/4について 4. その他業務について業務実施状況表で確認
第25回	3月12日	1. 残り業務の実施状況の確認 2. 年間報告書原稿案の確認

### (イ) 日々の業務報告提出

- 日々の業務についての「月次報告書」を作成し、業務内容等を記入したものを毎月（月初めに）、中部地方環境事務所へ提出した。
- 施設の運営・利用状況（次表）、相談対応票 [🔗](#)、EPO 中部が関わった審議会・委員会・検討会・会議等（他団体主催のもの） [🔗](#) について、月次で報告資料を作成、提出した。（※ [🔗](#)：本報告書該当ページへリンクあり。）
- EPO 中部施設の運営状況（業務実施日数・開館日数）、来館件数とメール・電話による問合せ件数等は、次の通りであった。

### 【施設の運用状況・使用状況等】

	業務実施日数・計(日)	開館日数・計(日)	来館者数・計(人)		来館件数・計		メール・電話による問合せ件数(件)		スタッフ体制・計	
			日平均(人/日)	日平均(人/日)	日平均(件/日)	日平均(人/日)				
4月	22	21	29	1.4	16	0.8	20	1.0	67	3.0
5月	21	21	12	0.6	8	0.4	13	0.6	67	3.2
6月	20	20	7	0.4	5	0.3	3	0.2	64	3.2
7月	23	22	12	0.5	8	0.4	29	1.3	67	2.9
8月	17	16	10	0.6	4	0.3	21	1.4	56	3.3
9月	20	19	8	0.4	3	0.2	5	0.3	63	3.2
10月	24	22	7	0.3	4	0.2	12	0.5	85	3.5
11月	23	20	1	0.1	1	0.1	6	0.3	73	3.2
12月	21	19	10	0.5	5	0.3	9	0.5	56	2.7
1月	20	19	6	0.3	3	0.2	11	0.6	62	3.1
2月	21	18	7	0.4	6	0.3	4	0.2	72	3.4
3月	13	11	4	0.4	3	0.3	6	0.5	41	3.2
計	245	228	113	0.5	66	0.3	139	0.6	773	3.4

# イ 中部地方環境事務所が主催する会議（外部評価委員会）への対応

- 中部地方環境事務所が実施した外部評価委員会に提示する資料として、自己評価シート、令和6年度（2024年度）の業務実施報告資料を作成し、中部地方環境事務所へ提出した。
- 3月4日に実施された外部評価委員会にEPO中部も出席し、資料説明等を行った。

## 【作成・提出した業務実施報告資料】

### 第7期・EPO中部/中部地方ESD活動支援センター 令和6（2024）年度の業務報告

2025年3月4日

### EPO中部主催イベント業務

### 1. EPO中部主催イベント/会合

closed: クローズド形式で開催/それ以外は参加を公募 ※1: 参加者数/環境省-EPO数

実施地	設定	時間	参加者	テーマ/内容等	連携先/関係者/登壇者等
① 中間支援セミナー	愛知県名古屋市	1月27日	27人	地域循環共生圏づくり支援セミナー(2024年度:入門編)	・ 地域循環共生圏づくりとは～NPO持続可能な社会をつくる元氣ネットワーク-鬼沢先生 ・ 地域経済循環分析-指標分析ツール-価値総研 ・ 登壇者:各WGメンバーによるトークセッション(成果冊子)
② 地域主体共創フォーラム(2回)	富山県上市町	12月7日 2月22日	28人 34人	地域循環共生圏フォーラムin上市町 みんなで描く! つながる。めぐる。あきらむ。上市町(全2回)	・ 富山県の協働コーディネーター2名による連携企画 ・ 登壇(PDFのやま)、茶木氏(株式会社イーツリー)・コミュニケーションズ) ・ 第1回:ワークショップ編、第2回:発表&ディスカッション編
③ 協働コーディネーター意見交換会	愛知県名古屋市	8月26日	9人	地域循環共生圏づくりにおける「中間支援」機能とは? 活動現場の課題とは?	・ 既存の協働コーディネーター ・ 登壇提供: 中部事務所、(共生圏事業)丹野・長野、(EPO共生圏フォーラム)ネクストステップ研究会 など
④ 活動評価手法検討WG(全3回)	富山県高山市	4月5日 5月19日 7月17日	5人 5人 closed	第3期評価手法実績共有、第7期検討計画案 評価実績を活用した事例検討(2事例)	※2: 検討会設置(メンバー:古澤氏、水上氏、岸氏) ・ 協働コーディネーターや地域循環共生圏事業等を中心に対象事例を選定
⑤ キックオフ報告会	富山県高岡市	11月12日	closed	事例フィードバックの検討と課題抽出	・ 課題抽出を踏まえDX導入のための専門家オブザーバー参加を検討
⑥ 中間報告会	愛知県名古屋市	6月26日	19人	地域循環共生圏事業の「活動団体」を対象とした中間共有会&エクスカーション	・ 活動団体による活動計画等の発表 ・ ステークホルダー整理作業ワークショップ
⑦ 全国ESD総会	富山県上市町	10月10日 10月11日 10月13日	closed	EPO中部が企画・運営 10/2昼食、午後:エクスカーション① 10/3全日:エクスカーション②	・ 活動団体による中間報告発表、先輩団体(小布施)の取組紹介 ・ 登壇者:ワークショップ、長野野手井地区の活動関連施設等の視察エクスカーション ・ 昼食、協働コーディネーター企画の上市町食材のオリジナル弁当 ・ エクスカーション①:運営委員企画による「プラとやま」 ・ エクスカーション②:協働コーディネーター企画「案内で南穂市視察

### 地域循環共生圏づくり支援セミナー（2024年度：入門編）

- ・ 1月27日にオンラインセミナー「地域循環共生圏づくり支援セミナー2024」を開催、配信。
- ・ 前半プログラムは、NPO持続可能な社会をつくる元氣ネットワーク・鬼沢良子先生(地域循環共生圏事業有識者会議議長)の講演、連携者が公開している地域経済循環分析-指標分析ツールの紹介(価値総研)。後半プログラムは、前半講師と4活動評価手法検討WGメンバーによるトークセッションを実施。
- ・ ライブ配信での参加者は、zoom参加+YouTube自由視聴合わせて27人。
- ・ 動画はアーカイブ公開中(<https://www.youtube.com/watch?v=2m0000000000>)、さらに後半「トークセッション」は冊子にし、取組主体に活用いただくツールとして公開予定。
- ・ 2024年度は「地域循環共生圏づくり入門編(仮)」と位置づけており、次年度以降は下記コンセプトのセミナー展開を想定。
  - 2025年度: 中間支援に焦点をあてた中級編(仮)
  - 2026年度: 総括編(仮)

### 地域循環共生圏フォーラムin上市町（全2回）

- 富山県上市町で、12月7日に第1回、2月22日に第2回「地域循環共生圏フォーラムin上市町」を開催。
- 企画・運営に、富山県の協働コーディネーターであるPEOとやま・塚氏と、(株)イーツリー・コミュニケーションズ・茶木氏が協力。
- 第1回はワークショップ編として、塚氏によるファシリテーションでローカルSDGs事業のアイデア出しを実施。上市町の地域づくり会合「ハッピー上市会」を中心とする参加者28人が参加。
- 第2回の発表編には34人が参加、第1回で提案されたローカルSDGsアイデアを実際の参加者が発表した。

4班/4テーマにわかれて地域をつなぐローカルSDGsのアイデアをディスカッション  
一面はハーブティの発表内容

### 協働コーディネーター意見交換会

- 8月28日に、EPO中部・協働コーディネーター6名(及び、オブザーバーとしてセブンイレブン財団2名)が出席して意見交換会を開催。
- 近況報告のほか、それぞれの地域活動の取組状況と課題を共有したうえで、地域循環共生圏づくりに取り組むうえで地域側の課題感、中間支援の必要性、難しさ等について意見・情報交換を行うことができた。

プログラム	時間
13:30-14:00	開会
14:00-14:30	自己紹介と近況報告
14:30-15:00	1 最新情報センター-近況のみなさんのご紹介
15:00-15:30	2 「結果提供」中部地方環境事務所からの情報提供-共有等
15:30-16:00	3 「結果提供」協働コーディネーターから
16:00-16:30	4 「結果提供」EPO中部から
16:30-17:00	休憩
17:00-17:30	5 上記4回-8 異業タイム及び意見交換
17:30-18:00	閉会



## 地域循環共生圏づくりの支援 (環境省事業の選定団体への支援等)

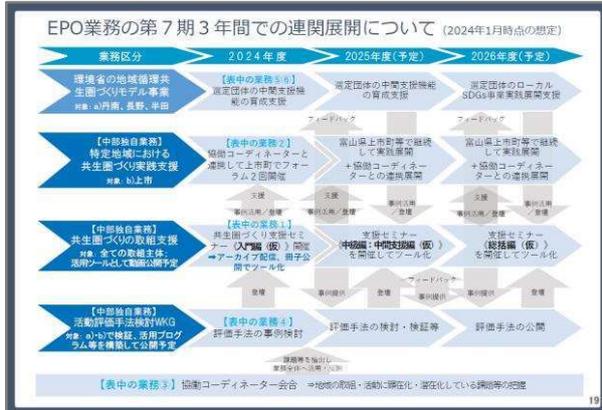
- ### 4. 地域循環共生圏づくりの支援業務とその対象
- | a) 環境省事業(共生圏事業)の選定団体   | b) 自治体及び協働コーディネーターとの連携事業  | c) その他/企画: 中部事務所、運営: EPO  |
|--|---|---|
| <p>※①: 中間支援主体、②: 活動団体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● PF丹南(福井県丹南エリア): ①ローカルSDクリエーション、②エコグリーンツーリズム水の里しらやま</li> <li>● PF長野(長野県長野市平井地区): ①長野県NPOセンター、②平井地区住民自治協議会</li> <li>● PF半田(愛知県半田市): ①半田市、②半田市地域循環共生圏推進協議会</li> </ul> <p>【選定団体への支援に加えて】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>6月に、中部ブロックのキックオフ会を開催</li> <li>10月に、中間共有会(取組報告会)を開催</li> <li>適年度採択団体の取組状況の把握(ヒアリング実施)</li> </ol> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域循環共生圏づくり支援セミナー等の開催(1回)</li> <li>● 富山県内の協働コーディネーター2名との連携による「地域循環共生圏フォーラム」を富山県上市町で開催(計2回)</li> <li>● 連携コーディネーター(株)テラーツリー・コミュニケーションズの橋本氏、PEOとやまの橋本氏</li> <li>● 協働コーディネーターとの意見交換会の実施(1回)</li> <li>● 地域循環共生圏づくりの活動評価手法の検討: 有識者による検討WGの実施(計3回)</li> <li>➢ 成果冊子とりまとめ</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 身近な自然資本活用に関する意見交換会等の実施(計2回)</li> <li>➢ 自然資本を基盤とする地域づくりに関するパートナーシップ促進のための意見交換会やワークショップ等の開催</li> <li>● グリーン社会実現に向けたステークホルダー連携促進会等の実施(計4回)</li> <li>➢ ヒト・モノ・カネ・情報をつなぐ場の開催と、地域内の対話の促進により、地域循環共生圏のドミノ地域に波及させる意見交換会やワークショップ等の開催</li> </ul> |

### 地域循環共生圏事業選定団体への支援: キックオフ会開催

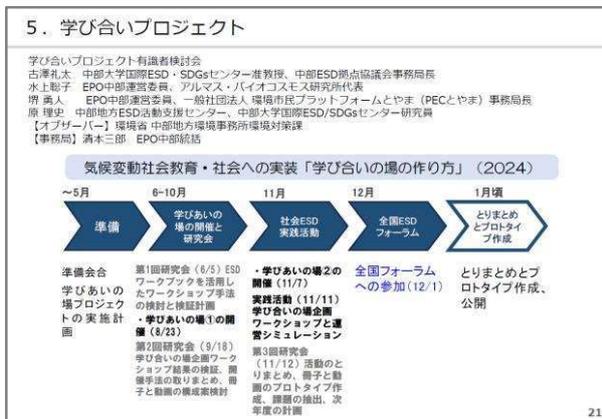
- 6月26日に地域循環共生圏事業に選定された3地域・6団体の19人が集い、「キックオフミーティング」を実施。
- 前半に、各地域・団体の取組予定内容を発表してもらい、後半に地域ごとのグループで、ステークホルダーの紹介＆巻き込みアイデア出しを行うワークショップを実施。

### 地域循環共生圏事業選定団体への支援: 中間共有会

- 10月23-24日に、地域循環共生圏事業の中部ブロック中間共有会を長野県長野市平井地区で開催。3地域6団体から25名が出席。
- 3地域6団体による取組報告のほか、「誓いめ(誓い合い)ワークショップ」を実施。
- 2日目はエクスカーションとして、平井地区住民自治協議会(いもりリビングらほ)主宰の「暮らしパスタズ」体験のほか、協議会の活動関連施設等の見学・視察を実施。



### 独自プログラムの作成・活用① 2024年度学び合いプロジェクト 気候変動社会教育・社会への実装「学び合いの場の作り方」

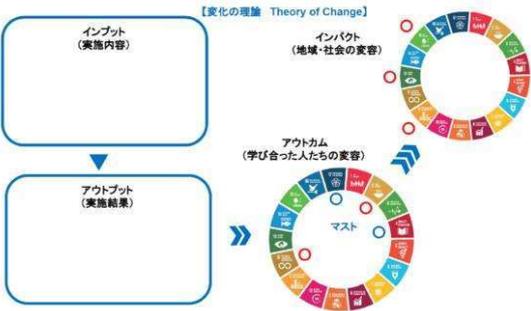


### ワークショップの試行と実践活動

学び合いの場①学生向けワークショップ 参加者18名  
開催 2024年8月23日(金)14:00~15:30(90分)  
場所 愛知教育大学116サイエンスアクティビティルーム  
目的 ESDワークブックを用いた「学び合いの場づくり」実施者研修プログラムの試行  
内容 大学ゼミと連携した学生向け「学び合いの場企画ワークショップ」  
学び合いの場②推進員向けワークショップ 参加者25名  
開催 2024年11月7日(木)10:10~12:00 ワンクあいち 1303会議室  
気候変動教育における中間支援〜学び合いの場づくり企画ワークショップ【学び合いの場2】  
【環境省EPO中部・中部地方ESD活動支援センター連携講座】温セ中部ブロック合同検討会(11月6~7日)  
地域温暖化防止活動推進センター(温セ)と連携した温セ職員向け、学び合いの場企画ワークショップ  
実践活動:福井県坂井市職員向けワークショップ 参加者39名  
開催 2024年11月11日(月)15:00~16:30 坂井市役所 3F大ホール  
2024 ESD for SDGs実践セミナー「学び合いの場づくり」実施者研修  
【解説】ESD for SDGsとしての「学び合いの場」について  
【ディスカッション】企画づくりテーマ設定  
【ワーク】企画した学び合いの場についてのSDGsチェック  
【ワーク】学び合いの場の企画づくり  
【ワーク】ベネッセワークショップによる企画のブラッシュアップ  
【プレゼン】議論した内容を発表

有識者検討会議の議論：SDGsのための学びを促進するために

企画案を検討する時のSDGsチェックシート改善の検討  
ロジックモデルを意識した「学び合いの場」の企画のためのツールの案



独自プログラムの作成・活用②  
活動評価手法の検討

6. 活動評価手法の検討

有識者によるワーキンググループ  
古澤礼太 中部大学国際ESD・SDGsセンター准教授、中部ESD拠点協議会事務局局長  
水上聡子 EPO中部運営委員、アルマス・バイオコスモス研究所代表  
原 勇人 EPO中部運営委員、一般社団法人 環境市民プラットフォームとやま (PECとやま) 事務局局長  
原 理史 中部地方ESD活動支援センター、中部大学国際ESD/SDGsセンター研究員  
【オブザーバー】 環境省 中部地方環境事務所環境対策課  
【事務局】 清本三郎 中部環境/ートナーシップオフィス (EPO中部) 統括

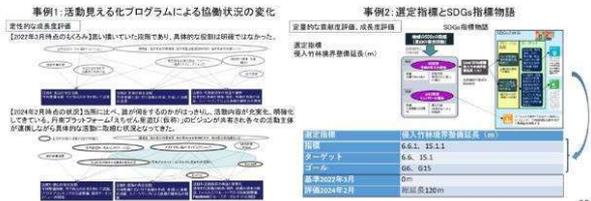
価値基準：ローカルSDGs活動の効果は環境、社会、経済の各分野に波及し、それにより、環境、社会、経済のそれぞれに関わる分野の資本が蓄積されること（六つの資本による活動評価チェックリストを作成）



分類	内容
達成度評価	目標をどれだけ達成できたかを評価する。 すなわち活動のアウトプット目標を具体的に設定し、それに対してどの程度達成できたかを評価する。
貢献度評価	あつたにどれだけ貢献できたかを評価する。 すなわち目標を定めた社会にどの程度貢献したかを評価し、どのように貢献しているかを評価する。
成長度評価	取組がどれだけ成長、発展できたかを評価する。 すなわち活動の成長を目標とし、事業の拡大や活動主体および関係者との協働連携が成長したかを評価する。

既存のツールを用いた活動評価手法の検討

分類	内容	活動見える化プログラム	SDGs指標情報	測定指標
達成度評価	目標をどれだけ達成できたかを評価する。	-	-	目標を定めた場合は、達成状況を定量的に評価
貢献度評価	あつたにどれだけ貢献できたかを評価する。	活動内容が社会、経済、環境のどの分野か、SDGsのどのゴールに貢献しているかを可視化して定性的に評価	測定指標がSDGsのどのグローバル指標、ターゲット、ゴールに貢献しているかを可視化して定性的に評価	貢献しているグローバル指標、ターゲット、ゴールにおける成果を定量的に評価【事例1】
成長度評価	取組がどれだけ成長、発展できたかを評価する。	協働ネットワークが現状どのようになっているかを可視化、複数の拠点を比較して変化を示すことで成長度を定性的に評価【事例1】	-	複数の拠点を比較して変化を示すことで成長度を定量的に評価【事例2】



その他／相談対応等の基本業務

7. 相談問合せ件数と対応状況

	無会・相談対応					対話の体制の構築			無会・相談対応の届くべき数
	相談に託し(広域協力)以外の支援対応を行った事例数 <sup>※1</sup>	無会・相談対応等の届くべき件数	来館件数	相談・無会・資料請求依頼等	会議利用	メール・電話による相談・問合せ等	会合・セミナー等の対話活動への招待	その他打合せや地域主体との対話の体制の構築	
2024年度 4月～12月 合計	37	182	53	31	22	129	15	106	303
2023年度 4月～3月 合計	39	244	80	39	41	164	25	116	385

※1 事例件数：最初の連絡から対応終了までの(その間の連絡・打合せ等を含めた)案件ごとにカウントした数となっている。  
※2 届くべき件数：同じ案件・案件での来館、メール・電話等であっても、個別に回数をおこなった数となっている。

月	相談件数	相談方法						相談主体の分類												
		電話	メール	来所	その他	学校・教育機関	大学関係	企業	自治体	その他	事業者	市民団体	その他	EPOによる支援内容	その他					
2024年度 4～12月 合計	37	8	16	6	7	3	6	2	4	9	9	2	2	11	2	3	2	6	4	9

8. 収集した情報の発信（ウェブサイトのアクセス数とメルマガ配信）

EPO中部ウェブサイト のアクセス数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
2024年度	2,504	2,155	2,474	2,358	2,130	2,115	1,896	2,013	2,416	23,171
2023年度	2,440	2,374	2,942	2,324	1,908	1,752	2,029	2,474	2,745	20,888
2022年度	2,133	2,197	1,983	2,125	2,387	1,883	2,413	2,873	2,852	20,846
2021年度	3,310	2,965	3,574	2,579	2,203	1,923	4,015	2,791	2,271	25,631

中部地方ESD活動支援センターウェブサイト のアクセス数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
2024年度	628	614	703	824	708	654	579	849	668	6,227
2023年度	938	997	890	1,184	1,326	1,149	902	997	606	8,989
2022年度	1,057	1,030	1,026	1,025	1,331	963	775	949	761	8,917
2021年度	1,115	1,368	1,324	1,272	811	872	1,463	1,240	1,302	10,767

メルマガ の配信記事数 ★読者登録数：728(2024.12月号配信時点)

	年間配信記事数・計	冒頭部(EPO関係記事等)	イベント関連	ツール・コンテンツ	助成金・表彰等	その他
2024年4月号～12月号で配信メルマガ(毎月第2火曜日発行)	327	19	147	33	105	23

連携・協力依頼等への対応（相談対応からの展開）

アサヒ飲料(株)中部北陸支社主催「SDGs将来世代創造フォーラム」に出席

- 8月21日に開催された「SDGs将来世代創造フォーラム」にEPO中部がブース出席。
- 一昨年度から協力している私立高校のインターシップ・プログラムで高校1年生4人のインターン生がブース出席を手伝いつつ、学生達出席ブース巡りをしてもらい、取材・感想記事原稿を作成していただいた。
- インターン生作成の取材記事は、ウェブサイトで公開中。  
▶ <https://www.epo-shubu.jp/epo-news/23415.html>

## ウ 環境白書を読む会への企画・運営支援

### ①イベント名

- 令和6年版環境白書を読む会「それぞれの地域でそれぞれの活動」

### ②日時

- 2024年9月25日（水）18:00～20:00

### ③会場・運営方法

- 会場：越前市生涯学習センター e ホール（福井県越前市）
- オンライン：webex ミーティング

### ④主催等

- 主催：環境省中部地方環境事務所
- 共催：越前市

### ⑤参加者

- 57名（会場参加18名、webex参加39名）

### ⑥プログラム

第1部 環境本省から、白書の概要説明

- 環境白書… 環境省 大臣官房総合政策課 環境計画室
- 循環型社会白書… 環境省 環境再生・資源循環局総務課 循環型社会推進室
- 生物多様性白書… 環境省 自然環境局自然環境計画課 生物多様性戦略推進室
- 質疑応答

第2部 地域の団体等からの活動紹介

- 合同会社 ローカルSDクリエイション 代表 三田村 佳政 氏
- NPO 法人 日本ホテル再生ねっと 理事 松田 元栄 氏
- 越前市 環境農林部環境政策課
- 意見交換



参加無料

令和6年版  
環境白書を  
読む会



それぞれの地域で  
それぞれの活動

日時

9月25日 水 18:00~20:00

会場

越前市生涯学習センター eホール 定員 50名

<https://www.city.echizen.lg.jp/office/090/070/index.html>

または

オンライン参加 (webex) 定員 120名

プログラム

第1部 環境本省から、白書の概要説明

- 環境白書 …… 環境省 大臣官房総合政策課 環境計画室
- 循環型社会白書 …… 環境省 環境再生・資源循環局総務課 循環型社会推進室
- 生物多様性白書 …… 環境省 自然環境局自然環境計画課 生物多様性戦略推進室
- 質疑応答

第2部 地域の団体等からの活動紹介

- 合同会社 ローカルSDクリエイション 代表 三田村 佳政 氏
- NPO法人 日本ホテル再生ねっと 理事 松田 元栄 氏
- 越前市 環境農林部環境政策課
- 意見交換：「地域での取組、個人の取組」

申込方法

\*会場参加はこちら

申込フォーム ▶

<https://forms.gle/2hAbdsM1b1yFeY9x6>



\*オンライン参加はこちら

webex登録 ▶

<https://kankyosozokenkyucenter.mywebex.com/weblink/register/re1d30e20cb41fa6bc84a2039601179eb>



•「@webex.com」または「@epo-chubu.jp」のアドレスから登録されたメールアドレス宛に招待メールが自動送信されます。

主催：環境省中部地方環境事務所／共催：越前市

## エ 全国ユース環境活動発表大会への参加・協力

### ①審査委員の推薦

- 全国ユース環境活動発表大会実行委員会（環境省／独立行政法人環境再生保全機構／国連大学サステナビリティ高等研究所）が主催する「全国ユース環境活動発表大会」中部大会の審査委員として、EPO 中部から、特定非営利活動法人長野県 NPO センター・事務局長の阿部今日子氏を推薦した。

### ②中部大会への参加

- 12月22日に開催された中部大会に、EPO 中部スタッフがオブザーバー参加し、出場校や関係者との情報収集・情報交換を行った。

### ③参加団体の情報発信

- 全国ユース環境活動発表大会の出場校の募集について、EPO 中部ウェブサイトで広報協力を行った。
- また、中部大会、全国大会の様子を EPO 中部ウェブサイトで紹介した。

掲載 URL : <https://www.epo-chubu.jp/epo-news/28140.html>

**第10回 全国ユース環境活動発表大会《全国大会・地方大会》について**  
2025.02.17

**第10回 全国ユース環境活動発表大会～全国大会～**

全国から計147件の応募があり、2024年12月に全国各地で開催された地方大会において選抜された計16団体が、「全国ユース環境活動発表大会（全国大会）」において、日頃から熱心に取り組んでいる環境活動やSDGs活動の発表を行いました。中部地方から出場した愛知県立後援校高等学校は《脱炭素型社会》を、長野県下伊那県立高等学校は《優秀賞》を受賞しました。（参考）環境省（報道発表）は [こちら](#) です。

<大会概要>

- 日程 令和7（2025）年2月2日（日）
- 会場 国連大学 ウ・タクト国際会議場（東京都渋谷区神宮前5-63-70）
- 主催 全国ユース環境活動発表大会実行委員会（環境省／独立行政法人環境再生保全機構／国連大学サステナビリティ高等研究所）
- 後援 脱炭素型社会
- 協力 地方環境パートナーシップオフィス（EPO）、地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）、ESD活動支援センター
- 協賛 キリンホールディングス株式会社、協栄産業株式会社、SGホールディングス株式会社、株式会社タニタ、東京プラントシステム株式会社

● 結果

- 環境大臣賞  
徳島県立小松島高等学校
- 環境再生保全機構理事長賞  
富科県立高等学校
- 国連大学サステナビリティ高等研究所長賞  
北海道札幌北高等学校
- 脱炭素型社会  
愛知県立後援校高等学校
- 先生が選ぶ特別賞  
愛媛県立東浜高等学校
- 先生が選ぶ特別賞  
群馬県立吉原中央高等学校
- 協賛企業特別賞  
青森県立八戸中央高等学校
- SDGs活動特別賞  
京都府立府高等学校
- 優秀賞  
北海道札幌北高等学校、山梨県立都留南高等学校、長野県下伊那県立高等学校、京都府立京田原高等学校、広島県立世帯高等学校、ノートルダム清心学園清心女子高等学校、愛知県立後援校高等学校、熊本県立熊本高等学校

**第10回 全国ユース環境活動発表大会～中部地方大会～**

全国ユース環境活動発表大会（中部地方大会）に応募した13チームが出場し、活動発表を行いました。愛知県立後援校高等学校と長野県下伊那県立高等学校の2チームが全国大会への出場を決めました。

<大会概要>

- 日程 令和6（2024）年12月22日（日）
- 会場 TKPガーデンシティ PREMIUM 名古屋西口（名古屋市中区）
- 結果  
○ 地方大会優秀賞  
愛知県立後援校高等学校（作庭チームSAKURA）  
【発表タイトル】造園の力で地方創生！～地元資源と地産地消に込める～  
○ 高校生が選ぶ特別賞  
長野県下伊那県立高等学校 チーム3A・3D  
【発表タイトル】下伊那に「カッキ」を！～市田町の持続可能な未来をめざして～



Instagramでもっと見る

「いいね！」 20件  
erca.kirin

● 全国ユース環境活動発表大会 【第7期報告：中部地方大会開催報告】  
全国ユース環境活動発表大会 中部地方大会が、12月22日（日）に開催されました。全国大会に出場を決めた2校を紹介しましょう！

● 地方大会優秀賞  
愛知県立後援校高等学校 作庭チームSAKURA  
【発表タイトル】造園の力で地方創生！～地元資源と地産地消に込める～

● 高校生が選ぶ特別賞  
長野県下伊那県立高等学校 チーム3A・3D  
【発表タイトル】下伊那に「カッキ」を！～市田町の持続可能な未来をめざして～  
→ <https://www.erca.go.jp/?page=your/you/2024/index.html>

● 地球環境協会 #全国ユース環境活動発表大会 #環境保全活動 #SDGs #高校生 #中部

コメントを投稿

**第10回 全国ユース環境活動発表大会～募集・実施について～**

<募集概要>

- 対象 高校生による環境活動
- 内容 地球温暖化対策、脱炭素、生物多様性の保全、自然共生、資源循環など「環境」に関わる活動、持続可能な開発目標（SDGs）の目標達成に資する活動
- 期間 令和6（2024）年9月17日（火）～11月5日（火）18:00
- 参考 環境省（報道発表）は [こちら](#) です。

## (2) 全国ネットワークの活用及び連携の確保・強化

- 全国の地方 EPO・GEOC・ESD 活動支援センター等のネットワーク活用と連携の確保・強化を図るため、GEOC 等が実施する会議に出席した。

### ① 検討会議・全国 EPO 連絡会等への出席

- 第2回全国 EPO 連絡会は中部での開催となったため、中部地方環境事務所と協議のうえ、富山県富山市で開催することが決定し、本会議の会場の確保、会議終了後のエクスカーション実施など、開催・運営のための支援を行った。
- エクスカーションについては、富山県の2名の協働コーディネーターと、運営委員の協力を得て、地域側の受け入れ等について協議・調整等を行った。

※ 地域循環共生圏づくりプラットフォーム構築事業に関連する会合、及び ESD 業務の関連会合は、各該当章に記載。

区分	開催日	開催方法	場所	実施内容等(次第等から抜粋)
協働取組の効果最大化に関する検討会議 EPO のミッション捉え直しタスクフォース	9月20日	ハイブリッド	GEOC (東京)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域での協働のプロセス実践とその伴走支援について</li> <li>■ 地域での協働のプロセス実践の共有ネットワークについて</li> <li>■ ディスカッション</li> </ul>
全国 EPO 連絡会議	第1回 6月12日-13日	ハイブリッド	GEOC (東京)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 【議題 1】改訂された促進法の基本方針に則った今年度の EPO 事業の概要</li> <li>■ 【議題 2】SH 連携促進事業の今年度の方向性</li> <li>■ 【議題 3】自然資本活用に関する意見交換会の今年度の方向性</li> <li>■ 【議題 4】地球環境基金との連携に関する今年度見直し</li> </ul>
	第2回 10月1日-3日	ハイブリッド	富山県民会館 (富山県富山市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 【議題 1】地域における活動主体と EPO の協働について</li> <li>■ 【議題 2】地方における地方事務所と EPO 受託団体の協働について</li> <li>■ 【議題 3】地球環境基金との連携における EPO の活用について</li> <li>■ EPO 受託者会議</li> </ul> <p>※エクスカーション: EPO 中部による開催支援で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ エクスカーション①: 協働コーディネーターによる昼食弁当提供、プラとやま</li> <li>■ エクスカーション②: 南砺市井波地区、南砺市エコビレッジ推進事業関連施設の視察エクスカーション</li> </ul>
	第3回 1月16日-17日	ハイブリッド	GEOC (東京)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 【議題 1】今年度の議論まとめと事務所内での協働取組事例の共有</li> <li>■ 【議題 2】令和7年度に向けた各事業の確認</li> <li>■ 【議題 3】令和7年度に向けた基金連携の確認</li> <li>■ EPO 受託者会議</li> </ul>

### ② EPO ネットワーク強化等に関するミーティングへの参加

区分	開催日	開催方法	場所	実施内容等(次第等から抜粋)
EPO ネットワーク勉強会 情報交換会	12月20日	ハイブリッド	GEOC (東京)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 話題提供①「静動脈連携」: 見山 謙一郎(昭和女子大学 人間社会学部 現代教養学科 教授)</li> <li>● 話題提供②「ネイチャーポジティブ-生物多様性保全を巡る議論の軌跡-」: 橋本 禪(東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授)</li> <li>● 意見交換・質疑応答</li> </ul>

### ③その他会合／催事等の出席・協力等

区分	開催日	開催方法	場所	実施内容等(次第等から抜粋)
ERCA 連絡会議	7月22日	ハイブリッド	ERCA (神奈川県川崎市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>2025年度地球環境基金募集案内及び地域課題調査等のパイロット事業について</li> <li>2025年度地球環境基金助成金の募集、説明会実施概要について</li> </ul>
地域脱炭素ネットワークングイベント	8月30日	リアル	東京国際フォーラム (東京)	<p>※マッチングの場のファシリテーターとして協力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イベントのグランドルール説明</li> <li>地方公共団体プレゼンテーション</li> <li>地方公共団体と企業のマッチング</li> <li>名刺交換等交流会・企業によるピッチ/ブース出展</li> </ul>

### 【第2回全国EPO連絡会の終了後に実施した富山開催エクスカージョン】

※EPO中部が企画・運営

### 全国EPO連絡会@富山開催

- 10月1日・2日に開催された全国EPO連絡会の地方開催が、今年は中部開催となり、富山市で開催。
- 10月2日・3日にEPO中部が視察エクスカージョンを企画することになり、運営委員・田辺氏、協働コーディネーター・堺氏、茶木氏の協力を得て、富山県上市町の食材の弁当提供、富山市内散策「プラとやま」、南砺市の井波地区とエコビレッジ構想関係施設の見学を実施。

行程	時間・集合場所等	実施内容・訪問先等
10月1日(火) 懇親会	19:00~21:00 富樫 富山駅前店	富山駅南口から徒歩約5分/富山県民会館から徒歩約5分 お店のwebサイト: <a href="https://tomisakura-toyamaekimae.owst.jp/map">https://tomisakura-toyamaekimae.owst.jp/map</a>
10月2日(水) ① エクスカージョン	昼食 12:15~13:15 富山県民会館701号室	機ディー・ツリー・コミュニケーションズの未利用材活用等の取組紹介 & 富山県上市町(かみいちまち)の食材によるオリジナル弁当で昼食
	13:30 富山県民会館701号室 集合・出発 15:30頃 富山市役所展望塔 (富山県民会館の東隣) で解散	NPOまちづくりスポットとやまによる「プラとやま」 (2時間)徒歩散策  【立寄りスポット】 ①富山城址、②総曲輪レガートスクエア、③平和通り、④松川と助作川(サンシップとやま、微高地の自然堤防)、⑤常夜灯、⑥富山市役所展望塔 ※⑥富山市役所展望塔で、ガイドさんによる案内後15:30頃に流れ解散の予定です。  講師…富山大都市デザイン学部 安江健一先生 案内…立山黒部ジオパーク協会、まちづくりスポット、富山市(②説明)
10月3日(木) ② エクスカージョン	09:00 富山駅 北口駅前広場 集合・出発 (バスで移動) ※富山駅~南砺市間は、車で片道約1時間弱  16:00頃 富山駅 着・解散	(一社)環境市民プラットフォームとやま(PEGとやま)による「南砺市の井波地区のまちづくり&エコビレッジ構想」視察 (約7時間)バス移動  【訪問先】※次頁に行程表あり <午前>南砺市井波地区…木彫りのまち井波の持続可能なまちづくりの視察 <午後>南砺市エコビレッジ構型の関連施設の見学 昼食:合掌ゲストハウス かずら  案内…南砺市エコビレッジ推進課、NPO法人イナミライデザイン など





## 8 外部資金を活用した事業

### (1) 環境再生保全機構への協力

- 年間予算：329,532円

#### ①地球環境基金 EPO 連絡会への出席

- 第1回全国EPO連絡会（6月12日・13日開催）において、環境再生保全機構及び全国の地方EPOを交えた今年度の業務についての協議・確認を行う会合が併催され、EPO中部も出席した。
- 7月22日に開催された環境再生保全機構・EPO連絡会議に出席し、機構とEPOの今後の連携展開について協議を行った。

#### ②地球環境基金の次年度募集に関わる説明会等の開催

- 来期（2025年度）募集分の地球環境基金の中部説明会を、主催：環境再生保全機構、協力：EPO中部により10月18日に開催した。
- 説明会の開催後、実施報告書を作成し、環境再生保全機構へ提出した。

#### 【提出した地球環境基金説明会の実施報告書】

<p style="text-align: center;"><b>実施報告書</b></p> <p style="text-align: right;">令和6年11月29日</p> <p>独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金部長 様</p> <p style="text-align: center;">一般社団法人 環境創造研究センター 理事長 福井 弘道 名古屋市中区東桜二丁目5番11号 シュネルビル6階 TEL:052-934-7295 FAX:052-932-7296</p> <p>下記の行事について、実施報告を致します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 行事の名称 2025年度地球環境基金助成金説明会 IN 中部</p> <p>2 行事の趣旨、目的 中部エリアにおいて、2025年度地球環境基金助成金に係る説明会を開催し、地球環境基金助成に係る周知・広報の強化を図ることを目的とする。</p> <p>3 周知方法 ホームページ、メールニュース、チラシ（別紙2「広報用チラシ」参照）、SNS等での情報発信を行った。</p> <p>4 行事の実施日時 令和6年10月18日（金）19:00～20:30</p> <p>5 行事の概要 開会・挨拶 [19:00～] 第1部 セミナーと地域の活動事例紹介 （1）テーマ別セミナー ○ローカルSDGs活動の評価について考える 講師：原 理史（はら まさし）氏 中部大学中部高等学術研究所</p>	<p>（2）中部地域における助成先団体の活動事例紹介 [2024年度つづける助成（継続3年目）] OSDGsをテーマとした探究型学習プログラムの開発と実践・普及活動 講師：伊藤 弘晃（いとう ひろあき）氏 教育旅行ぶくい 第2部 地球環境基金助成金の募集について [19:50～] （1）地球環境基金助成金について （2）要望書の書き方講座 （3）質疑応答</p> <p>6 行事の実施場所（実施方法） オンライン開催（zoom）</p> <p>7 参加者 29名（登壇者・事務局を含む）※参加申込者20名</p> <p>8 主催 独立行政法人 環境再生保全機構 地球環境基金部</p> <p>9 協力 環境省中部環境パートナーシップオフィス（EPO 中部）</p> <p>10 その他特記事項 下記資料を別紙の通り添付いたします。 ・別紙1 2025年度地球環境基金助成金説明会（2024年度開催）概要 ・別紙2 広報用チラシ ・別紙3 アンケート結果（※入力データは地球環境基金から提供）</p>
---	--

2025年度地球環境基金助成金説明会(2024年度開催)

概要

行事名 地球環境基金助成金説明会 IN 中部
日時 2024年10月18日(金) 19:00~20:30
実施方法 オンライン開催(zoom)
参加者 29名(登壇者・事務局を含む)
内容

- 挨拶 永井 亮 氏(独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金部)
第1部 セミナーと地域の活動事例紹介
(1) テーマ別セミナー「ローカルSDGs活動の評価について考える」
(2) 中部地域における助成先団体の活動事例紹介
第2部 2025年度地球環境基金助成金の募集について

【説明会の様子】



「ローカルSDGs活動の評価について考える」



「SDGsをテーマとした探究型学習プログラムの開発と実践・普及活動」



「地球環境基金助成金について」



「個別相談会の再案内及びアンケートの協力依頼」

【地球環境基金説明会の開催案内チラシ】

2025年度地球環境基金助成金説明会 IN 中部
日時 10月18日(金) 19:00~20:30 オンライン
内容 19:00~ 第1部 セミナーと地域の活動事例紹介
19:50~ 第2部 地球環境基金助成金の募集について
個別相談会 地球環境基金の担当者がオンラインでご相談を承ります(1団体15分以内)
日程 10月2日(水)・10日(木)・18日(金)・23日(水)・31日(木)・11月6日(水)・7日(木)・8日(金)
時間 午前の部▶10:00~12:00 午後の部▶14:00~16:00 夜間の部▶18:00~20:00
申込 地球環境基金webページ内 個別相談会申込フォームから
締切 各開催日の2営業日前まで
EPO連携助成金説明会を全国8地域で開催します。各地域の開催日程・参加申込は、地球環境基金webページをご覧ください。
環境部 中部環境パートナーシップオフィス (EPO中部) TEL: 052-218-8605 (電話による申込は受け付けておりません)
主催: 独立行政法人 環境再生保全機構 地球環境基金部
協力: 環境部 中部環境パートナーシップオフィス (EPO中部)

## (2) 環境研究総合推進費委託事業への協力

- 支払額：現地調査先 1 か所につき 200,000 円（税抜）

### ①依頼内容

- 現地調査先及び研究チーム担当者との、現地ヒアリング日程調整及び場所の調整
- 現地ヒアリングへの同席（1 か所あたり 1 回程度、2 名）
- 現地ヒアリングに当たっての補足情報の提供（メール等）

### ②現地調査

- 一般社団法人スマート・テロワール協会：7 月 30 日・31 日実施
- おわせ SEA モデル協議会：8 月 8 日・9 日実施

## (3) 愛知県環境学習コーディネート業務

- 年間予算：668,800 円
- 環境学習に関する愛知県内の学校・企業等からの相談、照会依頼に対し、相談業務 6 件、コーディネート業務 10 件を実施した。

No.	受付日	依頼先区分	分野	依頼内容	相談	コーディネート	
						実施日	参加人数
1	4月8日	行政	地球温暖化、消費生活・衣食住、ごみ・資源循環、3R	環境講座の講師の紹介。	①	— 5月11日 (中止)	—
2	4月16日	中学校	SDGs⑦(エネルギーをみんなに、そしてクリーンに)	環境講座の講師の紹介。	—	① 6月10日	745名
3	4月30日	民間	SDGs⑬(気候変動)	地球温暖化をテーマとする学習会(5回)の講師の紹介。	②	— 8~10月(5回) (中止)	—
4	5月2日	民間	ごみ、資源、リサイクル、環境全般、SDGs	環境講座の講師としての登録希望。	③	—	—
5	5月17日	行政	地球温暖化・エネルギー・自然への愛着	緑のカーテン教室の講師の紹介。	—	② 6月3日・11日	210名
6	6月3日	民間	SDGs⑦(エネルギーをみんなにそしてクリーンに)、⑭(海の豊かさを守ろう)、⑮(陸の豊かさを守ろう)	環境学習の企画および講師の紹介。	—	③ 8月18日	30名
7	6月27日	民間	地球温暖化	温暖化による自然災害の学習会の講師の紹介。	—	④ 8月3日	15名
8	7月2日	行政	SDGs⑬(気候変動)	市職員を対象とする環境セミナーの講師の紹介。	—	⑤ 10月4日	50名
9	7月4日	民間	SDGs⑮(陸の豊かさを守ろう)、⑭(海の豊かさを守ろう)、⑬(気候変動)	環境教室の講師のサポート	—	⑥ 8月18日	92名
10	7月16日	小学校	干潟について	干潟や干潟に生きる生き物と、海のごみが生き物に与える影響について学ぶ授業の講師の紹介。	—	⑦ 9月17日	46名
11	7月26日	小学校	地球温暖化、ごみ問題	地球温暖化やごみ問題を学ぶ総合学習の講師の紹介。	—	⑧ 10月8日	80名
12	9月3日	民間	SDGs④(質の高い教育)、⑰(パートナーシップ)、⑬(気候変動)、⑭(海の豊かさ)、⑮(陸の豊かさ)	動物の専門学校における環境教育について検討する会議への参加。	④	—	—
13	9月5日	行政	環境、ごみ問題・4R	環境フェスティバルへの出展者の紹介。	⑤	—	—
14	9月12日	行政	SDGs⑫(つくる責任、つかう責任)、④(質の高い教育)、⑬(気候変動)	食品ロスをテーマとする環境講座の講師の紹介。	—	⑨ 2月9日	27名
15	10月28日	行政	川に親しみ、川を理解し、川を守り、川の水質を良くする	小学生を対象とする水生生物調査の講師の紹介。	⑥	— 令和7年 5月末~6月	—
16	12月20日	行政	ごみ処理・リサイクル、地球温暖化、自然	環境学習の企画内容と講師の紹介。	—	⑩ 3月1日	8名
合 計					6	10	1,303名



## 9 今後に向けて

### ア 現状・課題の整理と今後の展開

#### (ア) 基本業務について

##### ①現状・課題の整理

- EPO 中部への相談件数、来館者数、メール・電話での対応件数等は、ここ数年、微増減を繰り返しており、ほぼ横ばいに推移している。
- EPO 中部／中部地方 ESD 活動支援センターのリーフレットについて、第7期の目標・役割を掲載する改訂を行ったうえで印刷・配布し、2月末までに主催イベントや地域からの招聘イベントなどで計460部を配布した。そのほか、EPO 紹介スライドを用いて、イベント等ではEPOの紹介を行うようにしている。
- EPO を紹介した際の反応から、受け手の多くが初めて EPO について知ったと考えられることから、EPO 中部及びその役割については引き続き周知に努め、認知度向上が課題になっていると考えられる。
- EPO 中部による情報の受発信では、今年度新たに EPO 中部ウェブサイトの「お役立ちツール」コーナーにおいて、「地域の環境学習・環境イベントのお役立ちリンク集」ページと、EPO 中部のワークショップ・プログラムとして「環境アクション for2050 を考える」グループディスカッションのプログラム（及びツール）を新設した。また、「地域循環共生圏づくり支援セミナー」の動画と冊子も公開し、「地域循環共生圏」コーナーでも活用ツールとして紹介・掲載した。

##### ②今後の展開

- ウェブサイトで新たに公開したページ、ツールの周知を図りつつ、EPO のほかの業務、地域からの招聘イベントなど、機会を得る都度に紹介、活用していく必要がある。
- 情報発信とその他イベント業務等を連動して展開し、EPO 中部の認知度向上と共に、EPO の役割として EPO が「できること／行っていること／支援すること」の内容について周知を図っていく必要がある。また、その際には EPO の役割が具体的に想起できるよう、公開したツールを紹介しつつ、その活用を呼びかける。
- 特に、今年度作成した「地域循環共生圏づくり支援セミナー冊子」や「活動評価チェックリスト」については、ほかの業務の事例等でも活用し、その試行・実践結果について公開しつつ、事例としての蓄積も行う。さらに、その事例に対する EPO による次の支援のあり方を検討・確認等するツールとしても活用することが可能である。

#### (イ) EPO 業務について

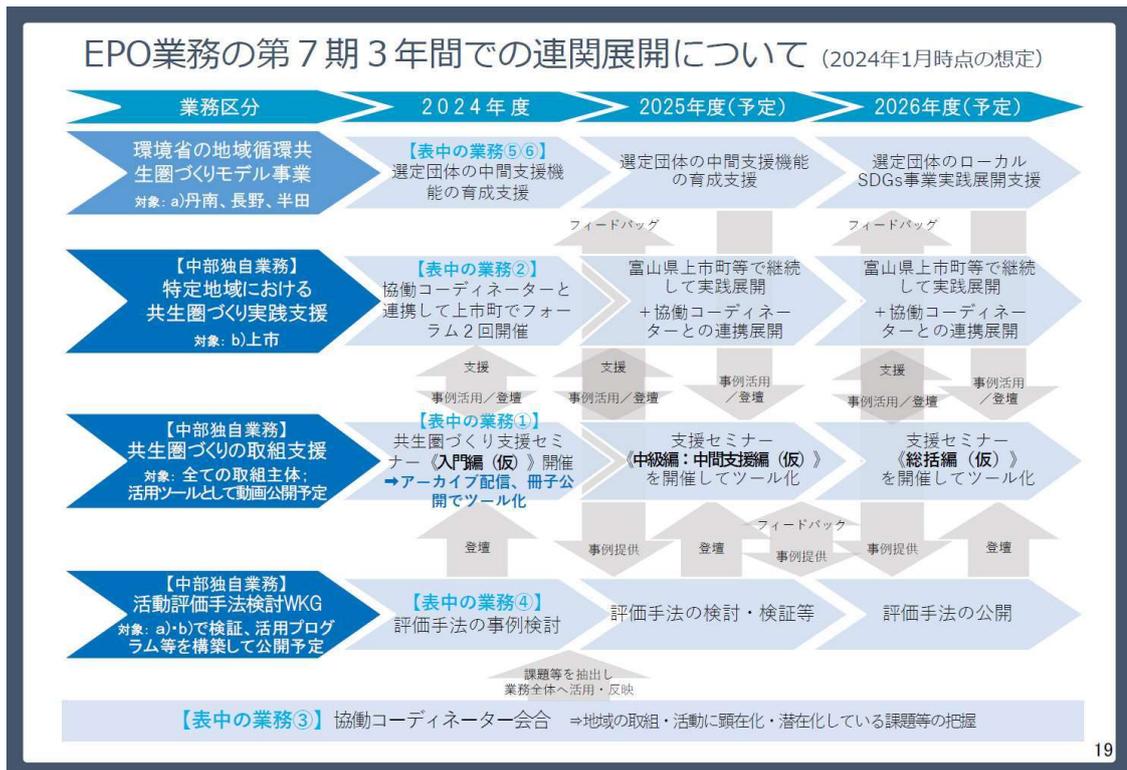
##### ①現状・課題の整理

- 協働コーディネーターとの連携業務として、地域循環共生圏フォーラムを富山県上市町で開催し、富山県の協働コーディネーターである堺氏（PEC とやま）と茶木氏（（株）ティー・ツリー・コミュニケーションズ）の協力を得て、上市町における地域循環共生圏づくりの実践に向けた仕掛けづくりに取り組んだ。
- 協働コーディネーターとの意見交換会では、地域活動の課題感や、地域循環共生圏づくりにおける中間支援の重要性や課題についての意見交換を行い、ここで提示・抽出された地域実践者の声や地域活動における課題等を、EPO のほかの業務のイベント企画やワークショップ・プログラムの検討等において活用・反映することができた。

- 地域循環共生圏づくりの活動評価手法の検討業務では、有識者検討ワーキングを実施し、ワーキング委員に地域循環共生圏づくり支援セミナーに登壇いただくトークセッションを実施する連動企画とした。また、トークセッションの内容を記事にした成果冊子を作成し、セミナー動画と共に公開した。
- 富山県上市町でのフォーラム開催など、地域循環共生圏づくりの実践事例や案件創出を目指した取組支援を展開しているが、連携・支援先が特定地域のみを対象とならざるを得ない側面もあり、多様なイベントの企画・実施と、より幅広い主体との連携強化が重要となっている。

## ②今後の展開

- 地域循環共生圏づくり支援セミナー動画や冊子をツールとして活用を図る。地域循環共生圏づくり支援体制構築事業の選定団体をはじめとする地域づくり活動主体に活用されるよう紹介しつつ、EPO 自身の主催行事等でも活用・紹介する。
- 地域循環共生圏づくり支援セミナーの企画として、次年度以降においては、中間支援に焦点をあてるなど、3カ年度のシリーズ企画（ステップアップ企画）の展開を想定している。
- 富山県上市町における協働コーディネーターと連携した地域循環共生圏づくりの取組では、2024 年度開催フォーラムをうけて、具体のプラットフォーム（或いはローカル SDGs 実践グループ）を発足する機運・意向が地域側に生じていることから、中部エリアの新たな地域循環共生圏づくり事例創出に向けて、EPO としての適切な支援・協力展開が考えられる。
- また、上市における地域循環共生圏づくりの事例化、中間支援のあり方などについては、活動評価検討ワーキング等において実事例として検証対象とすることが可能であり（あわせて地域側へ検討結果のフィードバックも行う）、さらには協働コーディネーター等を介した他地域への横展開の可能性についても期待できる。
- 事例の横展開と合わせて、中間支援主体や機能の育成と、協働コーディネーターをはじめとする EPO と地域（地方）の現場をつなぐアンテナ機能を持った主体との新たな形のネットワーク構築にも取り組む必要がある。



## (ウ) ESD 業務について

### ①現状・課題の整理

- 学び合いプロジェクトでは、昨年度作成した「中部版 ESD ワークブック」を活用した学び合いの場づくりを実践した。また、有識者検討会で「ESD ワークブック」の活用方法について検討し、ワークショップ用パッケージツールを作成した。
- 学び合いプロジェクトの成果であるワークブックの活用や、学び合いの場の企画運営において地域課題と SDGs を結びつける視点などを深化させるとともに、ESD の実践を創出し、広く普及していくことが重要となっている。
- ESD ダイアログなど主催イベントについては、地域との連携構築や参加者の裾野拡大とともに、その成果の発信方法をいかに行うかが課題となっている。

### ②今後の展開

- ESD ワークブックの活用方法を普及させるため、今年度作成したワークショップ用パッケージツールや動画について次年度業務で活用・検証することにより、より使いやすく効果的なパッケージの社会実装を目指す。
- 地域特性を踏まえた ESD の推進のため、GX も活用した SDGs 学生サミットなどの交流やイベントを通じて、地域の自然や文化、産業などを踏まえた効果的な ESD プログラムの開発や普及に取り組む。ESD ダイアログなどの地域的テーマを設定した ESD イベントでは、より地域に根ざしたテーマを設定し、地域住民や関係団体との連携を強化し、成果の発信とともに、継続的な ESD の取組へとつなげる支援のあり方を検討する。
- 気候変動教育に関する実践的な学びの機会創出を通じ、次年度以降に予定されている「地域脱炭素に資する ESD 推進事業の拡充」業務を踏まえ、高校における探究学習による自ら学ぶ能力の育成を目指した実証事業に参画する。

## イ 主催イベントの参加者アンケート結果

- EPO 業務、ESD 業務の全ての主催イベントのうち、クローズ会合以外のイベントにおいては、参加者アンケートを実施しており、イベント終了後、アンケートの集計結果を中部地方環境事務所担当者へ報告、情報共有を行った。
- 全体的にアンケート回答数が少ないことから、本項では、共通設問を用いたアンケートの回答について、全イベントの回答をまとめて集計する全数での集計を行い、参考値として整理した。
- 「250222 上市フォーラム」(地域循環共生圏フォーラム in 上市) は、第1回と第2回の回答を合計して集計した数となっている。
- 学び合いプロジェクト関連イベントなどの一部イベントについては、アンケート結果を有識者ワーキングによる検討材料等として活用するため独自のアンケートを実施しており、本項の全数集計に含まれていない。
- 中部地方環境事務所が企画した「身近な自然資本活用に関する意見交換会」「グリーン社会実現に向けたステークホルダー連携促進事業」では、事務所の意向により独自の設問設定が行われたため、それらの設問は全数集計に含まれていない。

### ① イベントの評価について

		● 今回の催事はいかがでしたか(5段階評価)									
		たいへん良かった	良かった	ふつう	あまり良くなかった	良くなかった	無回答				
EPO 業務	240925 白書を読む会 (n=4)		1		3	0	0	0	0		
	250127 共生圏セミナー (n=3)		1		2	0	0	0	0		
	250207 白山シンポジウム (n=30)		10		14		6	0	0		3
	250222 上市フォーラム (n=8)		4		3		1	0	0		1
ESD 業務	240919 NWフォーラム (n=9)		3		6	0	0	0	0	0	
	241122 ESDダイアログ (n=6)		2		4	0	0	0	0	0	
EPO業務・計(n=49)			16		22		7	0	0		4
ESD業務・計(n=15)			5		10	0	0	0	0	0	
全体(n=64)			21		32		7	0	0		4

② 役立つ情報や事例の有無について

		● 今後のあなたの活動や取組で役立つ情報や事例などがありましたか			
		あった	なかった	どちらともいえない	無回答
EPO 業務	240925 白書を読む会 (n=4)	3	0	1	0
	250127 共生圏セミナー (n=3)	3	0	0	0
	250207 白山シンポジウム (n=30)	30	0	2	1
	250222 上市フォーラム (n=8)	6	1	2	0
ESD 業務	240919 NWフォーラム (n=9)	6	1	2	0
	241122 ESDダイアログ (n=6)	5	1	0	0
EPO業務・計(n=49)		42	1	5	1
ESD業務・計(n=15)		11	2	2	0
全体(n=64)		53	3	7	1

③ (※上の②で「あった」と回答した情報・事例の内容)

240925 白書 を読む会	循環白書でプラ新法等について有益な話が聞けました。
	大規模圃場整備を実施するにあたって、ビオトープにホテルを退避させて再生させるチャレンジングな取り組みを聞くことができた。
250127 共生 圏セミナー	地域の会社や市が取り組んでいる、地域の状況に合わせた独創的な取り組み。特にローカル SD クリエーションさんの観光業と里山・里海の保全を両立に向けたコンソーシアムの構築は大変興味深かった。
	各団体・個人の得意と強みを持ち寄って集まる機会を作りたいと思いました 違う分野の人が交流すること
250207 白山 シンポジウ ム	・インタープリテーションの意味、役割(基本情報) ・「白山手取川ジオパーク」 ・ストーリーとその価値を共有する(知識、情報を伝えることではない) ・プログラム→教えるのではなく、ヒント、刺激を与え 考えてもらう、仕向けること 刺激、触発 ・お客様(体験者)のものである→例、公園、自然 アメリカでここから音はだめ！という部分です。町中がさわがしすぎるとしています。しかし、観光にいらした方が自分で自分から感じる様な雰囲気を作り、ガイドでしゃべりすぎないようにしたいと思いました。 アメリカの国立公園の持ちよう、高尾山のビジターセンターについての情報 インタープリターの役割、重要さ、関わり方 インタープリターのミッションについて インタープリテーション ガイドとはちがうかな インタープリテーションということを知らなかった！！非常におもしろかったです インタープリテーションについて。ガイドの育成プログラムに組み込んでほしい。 インタープリテーションには、目的とする行動を誘導する手法がある。 インタープリテーションの活用方法 インタープリテーションの基調講演と話題提供 インタープリテーションの考え方は、全てにつながる インタープリテーションの認識が変わった。 インタープリテーションを初めて知りました。私自身も旅行をしてガイドさんの話に触発したことがあります。意図的に出来ることはもっと学びたいです。 ガイド等活動でのインタープリテーションの重要性 ストーリー性 まずはインタープリテーションとは何ぞや？という状態だったところが、少しずつですが理解が深まってきた感覚です。今後、白山手取川ジオパーク公認観光ガイドを目指すにあたり、その手法を十分に活用しながら行動していきたいです。

	<p>気づきの大切さを知りました。</p> <p>具体的なツアー 体験活動の事例紹介。</p> <p>国内及びアメリカにおける具体的事例を知ることが出来た！ 今後、インタープリテーションの必要性、重要性を認識することが出来た！</p> <p>最後の体験型イベントにおいてその手法と目的をしっかり学ぶことができた</p> <p>石川県にインタープリテーションが入ってきて 20 年くらいだと思います。現状や課題が何となくわかった気がしました。次のレベルに行けるか自分も含め考えたい</p> <p>知らない活動を知れた</p> <p>伝える事大切さ</p> <p>伝える側の意識やしかけの重要性を再認識しました。</p> <p>白山(麓)で実際に実施しているガイドやインタープリテーション活動</p> <p>白山で活動されている方で今までご存知ない方を知った。</p>
250222 上市 フォーラム	<p>まちづくりや地域貢献活動の考え方や継続のしかた。</p> <p>やりたい事柄の進め方</p> <p>勝亦先生の事例</p> <p>地元密着の情報</p> <p>米農家さんから出た籾殻や藁を有効活用する為に上市町の LINE を使って必要とする方に伝えて有効活用してもらう。畑で使ってもらいまた野菜などの作物を作ってもらう。</p> <p>朴葉の葉がアルミホイルの代わりにになるとグループで聞いた点</p>
240919NW フォーラム	<p>ESD インフラ、飯田市の大学連携の考え方や取組み</p> <p>ESD インフラという捉え方:これで問題の捉え方が変わるかをこれから考えてみようと思いました。また、飯田市、高山氏の具体的な事例からは、社会的共有資本としての地域の人間関係(文化)の今後の展開を再考してみたいと思いました。ありがとうございました。</p> <p>大学連携の事例、様々な角度からの地域活性化の方法</p> <p>朝岡先生のご講演:ESD インフラ概念の提案、ソーシャル・キャピタルとのつながり</p> <p>朝岡先生の講演「ESD インフラ」が素敵などとも興味深い概念です。社会関係資本と考える考え方が素晴らしいです。公民館、学校、給食センターのお話も石川でも考えたいことでした。ESD インフラとしての公民館・学校の重要性を感じました。新たな地域づくりの核になると思います。</p> <p>飯田市の公民館活動が ESD につながっていること</p> <p>飛騨高山大学連携センターの事例が参考になりました。他地域の大学を呼び込みさまざまな取組・連携をしていること。</p>
241122ESD ダイアログ	<p>・高山～松本ビックブリッジ、ロングトレイル。・「間伐材」選ぶ→切り倒す→活用・工作の体験、子供たちの期待「木は活きている」「命かつかってしょ」・都心部からの受入れ、体験学習、地域との交流→効果と考察</p> <p>国立公園の視点で広く捉えることができ参考になりました。特に松本高山 BigBridge 構想での動きが分かり嬉しく思います。今後も多くの方が知ってもらえる様 PR 願います。</p> <p>施設活用や他県の実践例</p> <p>小から中 中から高へと継続してつながり(かかわり)をもって教育していくことの重要性を再認識※ ESD の観点を大切に</p> <p>木育、グリーンツーリズム、ユネスコエコパーク、ユネスコスクール</p>

④ イベント参加による積極性の喚起について

		●催事テーマに今後も積極的に取り組む必要がある感じさせる内容でしたか ※一部催事で設問設定なし					
		もっと積極的に取り組みたいと感じられる内容だった	これまでの取組で充分と思える内容だった	取り組む必要性を感じられない内容だった	よくわからない	設問なし※	無回答
EPO 業務	240925 白書を読む会 (n=4)	4	0	0	0	0	0
	250127 共生圏セミナー (n=3)	3	0	0	0	0	0
	250207 白山シンポジウム (n=30)	0	0	0	0	33	0
	250222 上市フォーラム (n=8)	8	0	0	0	0	1
ESD 業務	240919NWフォーラム (n=9)	0	0	0	0	9	0
	241122ESDダイアログ (n=6)	4	1	0	0	0	1
EPO業務・計(n=49)		15	0	0	0	33	1
ESD業務・計(n=15)		4	1	0	0	9	1
全体(n=64)		19	1	0	0	42	2

⑤ イベント開催のテーマや分野に対するニーズについて

240925 白書 を読む会	このように地域の具体的な取り組みについて理解できるセミナーを増やしていただきたいと感じた。 環境と教育：国民・消費者としての行動変容、自然への働きかけなど、個人に任せるだけではなく、教育としての取組が必要ではないか 災害廃棄物に関するフォーラム	
250127 共生 圏セミナー	小さな集落単位で地域経済循環できている事例があれば知りたいです ESD 関連テーマ	
250207 白山 シンポジウ ム	・白山市の食文化セミナー・とっておきの白山市風景、写真セミナー、発信のやり方 TORE 手法について インタープリテーションを活用した観光ガイドの具体的な手法についてなど インタープリテーションの研修など シンポジウムが入口としたら、1泊2日くらいのワークショップを開催し、気付きや発表による内面的レベルアップも必要か 各団体の交流、総会、お互い似たことをして、似たことで悩みがあると思う	
	古道ツアー 身体・健康と文化・歴史 海外の人との合同ツアー 国立公園の利用(関わり)をテーマにしたセミナーやワークショップ 手取川扇状地の住民の伝統的暮らしや工夫、LIFESTYLE の理解 情報発信について 人材育成、ユース育成、教育観光と環境教育 世界の様々な先進的取組の事例について知りたい。 石川の食文化、伝統の器などを紹介して欲しいです。(歴史も含めて。) 白山について 知りたい 米国パークレンジャー(ガイドではない)のあり方、すすめ方(ストーリー、考えさせること?)を考えること	
	250222 上市 フォーラム	まちづくりについてのワークショップ 耕作放棄地の活用の仕方、耕作の第一歩、上市にふさわしい農産物とは。 森づくり(竹林徐代・災害対策・特産物創出・獣害対策など)、空家活用
	240919NW フォーラム	環境教育を学校現場に普及させるには？環境問題か ESD を考えてもらう時に子どもたちに明るい未来を描いてもらうには？ 後半の初めの各拠点活動紹介で的確に時間内で説明できず、失礼しました。簡単なメモを先に提出するようにしてください。(石川ユネスコ協会)やはり交流ディスカッションが興味深かった。閉校寸前の学校のことや飯田モデルの背後のしくみなど。 集団(地域)としての課題解決能力の向上のために必要な仕掛け等 森林資源の保全を活用 生物多様性の確保、温暖化防止、サーキュラーエコノミーの連携への取組みについての紹介

241122ESD ダイアログ	サイクルツーリズム、ツアー(eバイク) 奥飛騨ビジターセンターの体験プロは魅力的、参加したい。木遊館で孫と遊び楽しみたいです。
--------------------	--

## ⑥末尾・自由記入欄の感想等

240925 白書 を読む会	WEBは地方に住む者にとってありがたいです。 地域それぞれに特徴的な取り組みがあることを知ることができた。 白書の話が大変大きな話だったので、一方で地域に根づいた活動がされていることに心強く感じた。 漠然と環境省の仕事に興味があつて参加したが、もっと具体的な仕事について知りたいと思った。環境政策という地域での個別具体的な対応が必要な問題に対し、環境省という大きな枠組みがどのような役割を果たしているのか、さらに深く理解したいと思う。
250127 共生 圏セミナー	WKG 議事資料のダウンロードを希望します カメラとマイクがよく配置できていて、映像も音声も鮮明に届いていると思いました
250207 白山 シンポジウ ム	”過去を知ることで未来を考える”という日比野さんの言葉が印象的で学びになりました。水の旅・石の旅や人や物とのつながりも面白かったです。インタープリテーションは学校以外でおこっているのも意外でした。講演時間は少し長いと思いました。 ・インタープリテーションの手法を深く学ぶ必要性を感じた、目的をもった手法を駆使できるようになりたい。 ・サンセットツアーや古道のトレッキングなど、白山ならではのアクティビティが興味深い ・手軽に参加できるインタープリテーションを扱うプラットフォーム(ビジターセンターの役割か?)があると、自然に詳しくない人の入り口になる。(おもい立ったときに、そこにいけば、何かに参加できる※アメリカの国立公園のように。) (裏面記載分)金沢に観光に来る人と、白山に来る人は目的がちがってくるのではないかと。どちらかというと、白山郷や五箇山に訪れるインバウンドの方々を誘致する意味があるのではないかと。昔の日本のくらしや信仰と密接にかかわる白山と共に知ることができる。ホワイトロードを介せば移動もしやすい。県を超えてはむずかしいか・・・ アメリカでは自然の大切さをジュニア体験で多くしているはずなのに何故アメリカ人はトランプを選ぶ？ 話さないガイド 興味をストーリー性を持って伝える方法を考える必要性 知られていない白山の良さをいかに発信できるか？インターネットでの調査しにくい ありがとうございます、先日白峰雪だるままつりに行ったところだったのでお話が良く入ってきました。観光において、インタープリテーションが大事だという事を感じました。サムさんの本買ってみます！国立公園に行った事がないので行ってみたいになりました。参加してとても良かったです。 いかに続けていくか 本音のつながりが大事 インタープリテーションの場を具体的にもつとつくる→自治体、民間団体？ ⇒ビジターセンター、展示館、スポットの説明書きなど ⇒プログラム、企画を多くすること ⇒どうして、企画、プログラムを伝えるのか(参加者をどう増やすか) インタープリテーションを軸にした構成でとても分かりやすかったです。仕事の仕方を改めて組み直そうと思いました とても興味深く楽しく聞かせていただきました。講演者の方々の話をもっと詳しく聞いてみたいと思いました。 とても有意義でしたありがとうございます ビジターセンターの価値、活用 今昔体験で、心豊かな人間にと。地元、地域のこと知ること。 もっと深い話まで入って行けるとよかったです時間の都合でしかたないかな でも参考になる話を多岐に渡って聞けたのがとてもよかったです ふだん聞けない観点でのいくつもあってよかったです ありがとうございます 横文字が多く、理解度 50%以下でしたが、白山の魅力をしっかりと感じとりました。白山への見方が変わり、興味を持ちました。 観光と教育のバランスや質、やり方など 持続可能な方法をもっと研さん研究する必要があるか？ 金沢へのインバウンドを「白山エリア」へについての意見 IRいしかわ線や北鉄石川線の各駅付近に「水、温泉、お酒、発酵食品、等々」の魅力的な誘引ポイント戦略的に配置する。「鉄道線の利用が有効」 具体的な取組例をもっと詳しく知りたかった。 交流人口の話は？ 発信を受ける情報がない 国立公園、ジオパーク、エコパーク、観光協会など情報がバラバラすぎて、欲しい情報にたどりつけない 総合サイト！ 小、中、高、地元教育が必須 交流人口増加とインタープリテーションの関連性が全く話されなかった。 石川県民にもっともっと白山に来てほしい 白山登山を県民にすすめてほしい(インタープリテーションしてほしい) 白山手取川ジオパークの魅力を伝えていく上で、インタープリテーションの果たす役割の重要性を改めて考えるきっかけとなりました。 話が高度すぎる 抽象的すぎる ディスカッションになっているのか？ とても有意義なイベントでした。

250222 上市フォーラム	自由に妄想できる事が楽しかった。色々な年代の方がいらして多様な意見が出て良い刺激になった。魅力ある上市の町作り、アグリパーク構想は更に進んでいくと思う。上市町の玄関である上市駅を竹や杉などの資材を使った建物にしてアグリパークの入口にしたら上市全体がアグリテーマパークのようになると思う。柿の収穫体験、里芋や季節の野菜の収穫体験などが上市町役場の LINE で予約できたら良い。手に入れた食材を手軽に自分で料理して食べられる町中キッチンを作る。 誰と誰がつながること意図しているのか？EPO はそれらのつながりにどのような支援を考えているのか。
240919NWフォーラム	もう少し交流ディスカッションの時間を増やして頂きたい。準備等が難しそうですが、うまく話し合えればとても為になります。ご検討ください。 可能でしたら本日の資料を共有いただきたいです。 新たな考え方や先進的取組を知ることができ、大変有益なフォーラムでした。ネットワークづくりにもなりました。ありがとうございました。 飯田市出身で名古屋在住ですが、SDGs・ESD 活動に数年前から興味を持って取組んでいます。学輪IIDA にも2、3年前から参加しています。長野県の企業と名古屋の企業が SDGsパートナーシップで連携し地域課題を解決していくお手伝いをしています。飯田市の公民館活動について知っているようで知らないことを今日教えていただきました。中部大学の福井副学長殿。古澤先生殿には大変お世話になっています。これからも微力ながらお手伝いしていこうと思っています。 普段あまり意識していない問題に触れられて良かったです。
241122ESDダイアログ	「ESD」に関わっていない、携わっていない人だとまず ESD って?? 意味・意義がわからない。SDGs とは違う・貴重な機会を企画、高山にて開催ありがとうございます・「山と小と」ジオが高山・飛驒の「礎」であることがもっと伝わると良いですね それぞれの立場で取り組んでみえる方との交流ができてよかったです。 午前の内容が盛りだくさん過ぎと感じた。焦点をしぼって発表の数を減らすことが大切。(※貴重講演はひとつでいいですね)子どもたちの発表をメインに、それが一番皆さんの心に伝わります。 三枝小と朝日中の子たちの発表に希望を感じました。ヒットネットで紹介して欲しい内容です。お願いします。理想のみでは受け入れてもらえない時流。着実な取組ありがとうございます。進めていきましょう。

### ⑦回答者の属性について

		●年齢 ※一部催事で設問設定なし								
		10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	設問なし※	不明
EPO 業務	240925白書を読む会 (n=4)	0	1	0	1	1	1	0	0	0
	250127共生圏セミナー (n=3)	0	0	0	0	1	2	0	0	0
	250207白山シンポジウム (n=30)	0	0	0	2	13	8	8	0	2
	250222上市フォーラム (n=8)	0	1	2	0	3	1	1	0	0
ESD 業務	240919NWフォーラム (n=9)	0	0	0	0	0	0	0	9	0
	241122ESDダイアログ (n=6)	0	0	0	0	2	3	1	0	0
EPO業務・計(n=49)		0	2	2	3	18	12	9	0	2
ESD業務・計(n=15)		0	0	0	0	2	3	1	9	0
全体(n=64)		0	2	2	3	20	15	10	9	2

		●所属先 ※一部催事で設問設定なし							設問なし※	不明
		NPO・NGO・任意団体	企業・事業者	行政機関	学校・教育関係	学生	その他			
EPO 業務	240925白書を読む会 (n=4)	0	2	1	0	1	0	0	0	
	250127共生圏セミナー (n=3)	1	0	1	0	0	1	0	0	
	250207白山シンポジウム (n=30)	4	4	6	3	0	14	0	2	
	250222上市フォーラム (n=8)	2	2	1	0	0	4	0	0	
ESD 業務	240919NWフォーラム (n=9)	0	0	0	0	0	0	9	0	
	241122ESDダイアログ (n=6)	0	1	0	2	0	2	0	1	
EPO業務・計(n=49)		7	8	9	3	1	19	0	2	
ESD業務・計(n=15)		0	1	0	2	0	2	9	1	
全体(n=64)		7	9	9	5	1	21	9	3	

		●活動分野のSDGs ※一部催事で設問設定なし									
		1. 貧困をなくそう	2. 飢餓をゼロに	3. すべての人に健康と福祉を	4. 質の高い教育をみんなに	5. ジェンダー平等を実現しよう	6. 安全な水とトイレを世界中に	7. エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	8. 働きがいも経済成長も	9. 産業と技術革新の基礎をつくろう	10. 人や国の不平等をなくそう
EPO 業務	240925白書を読む会 (n=4)	0	0	0	0	0	1	1	2	1	1
	250127共生圏セミナー (n=3)	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1
	250207白山シンポジウム (n=30)	2	1	6	9	1	3	4	3	1	2
	250222上市フォーラム (n=8)	2	3	3	2	1	1	1	2	1	2
ESD 業務	240919NWフォーラム (n=9)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	241122ESDダイアログ (n=6)	0	0	1	3	2	0	1	1	0	1
EPO業務・計(n=49)		4	4	10	11	3	5	6	8	3	6
ESD業務・計(n=15)		0	0	1	3	2	0	1	1	0	1
全体(n=64)		4	4	11	14	5	5	7	9	3	7

		11. 住み続けられるまちづくりを	12. つくる責任、つかう責任	13. 気候変動に具体的な対策を	14. 海の豊かさを守ろう	15. 陸の豊かさを守ろう	16. 平和を公正をすべての人に	17. パートナーシップで目標を達成しよう	設問なし※	無回答
EPO 業務	240925白書を読む会 (n=4)	3	1	1	1	2	1	1	0	0
	250127共生圏セミナー (n=3)	1	2	1	0	1	1	1	0	1
	250207白山シンポジウム (n=30)	10	5	3	6	12	4	5	0	15
	250222上市フォーラム (n=8)	4	2	2	1	3	1	2	0	2
ESD 業務	240919NWフォーラム (n=9)	0	0	0	0	0	0	0	9	0
	241122ESDダイアログ (n=6)	2	1	0	0	1	2	1	0	1
EPO業務・計(n=49)		18	10	7	8	18	7	9	0	18
ESD業務・計(n=15)		2	1	0	0	1	2	1	9	1
全体(n=64)		20	11	7	8	19	9	10	9	19

---

令和6（2024）年度  
中部環境パートナーシップオフィス運営業務  
年間報告書

2025年3月

発行：環境省中部地方環境事務所

〒460-0001 名古屋市中区三の丸 2-5-2  
TEL：052-955-2134／FAX：052-951-8889  
URL：<http://chubu.env.go.jp>

作成：中部環境パートナーシップオフィス

（運営受託：一般社団法人環境創造研究センター）  
〒460-0003 名古屋市中区錦 2-4-3 錦パークビル 4階  
TEL：052-218-8605／FAX：052-218-8606  
URL：<http://www.epo-chubu.jp>

---

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準に従い、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料 [Aランク] のみを用いて作製しています。